

自転車交通安全教育地域一体型プロジェクト



平成21年3月

(財)日本交通安全教育普及協会

はじめに

交通安全教育につきましては、皆様方には日頃から熱心に諸活動を推進され、ご尽力しておられますことに深く敬意を表します。

当協会は、内閣府、文部科学省及び警察庁の共管の財団法人として、交通安全教育の普及に関する調査研究や啓発事業を行っております。

自転車は、手軽な交通手段として広く一般に利用されています。その安全な乗り方の指導については、学校をはじめ関係機関、団体等により進められており、各地域においても様々な啓発活動が行われています。しかし、自転車の利用の実態をみますと子どもから高齢者まで多くの課題があり、自転車に関係する交通事故も依然として多発しているのが現状です。

こうした中、平成 20 年 6 月に道路交通法が改正され、自転車の歩道通行要件の明確化や、児童・幼児のヘルメット着用努力義務等が定められました。

このため、当協会では平成 19 年度から「自転車交通安全教育地域一体型プロジェクト」をモデル事業として埼玉県下で開始し、小学生やその保護者を対象としたアンケート調査や参加・体験型自転車教育を実施しております。

この事業は、自転車の指導者研修会を教職員に対して行うほか、幼児・小学生に対し自転車の正しい乗り方教室を開催して交通安全意識の向上を図るとともに、これらを地域が結束して行う事故根絶運動にも結び付けて地域の交通安全の効果的な推進を図り、ひいては安全・安心の街づくりに包括的に貢献することを目指しています。さいたま市内で始めたこのモデル事業が、県下の各地域に広がるとともに、全国の各地域における交通安全活動の参考になればと願っています。

平成 20 年度の事業を進めるに当たっては、埼玉県教育委員会をはじめ、さいたま市・所沢市・上尾市の各教育委員会と関係の小学校・幼稚園・保育園、さらには大宮警察署、ブリヂストンサイクル株式会社、関係団体等の皆様方に多大なご協力をいただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。

この報告書は、「地域一体型小学生の自転車交通安全教育」に視点を当て取りまとめました。本書が、学校、関係機関、関係団体等における自転車交通安全教育の一層の充実、発展のための参考になれば誠に幸いです。

最後に、この事業の推進と報告書の作成にご尽力いただいた関係の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成 21 年 3 月

財団法人日本交通安全教育普及協会 専務理事 浦田信行

目 次

はじめに

1. 事業の概要

2. 自転車交通安全教育推進委員会

3. 事業の内容

- (1) 自転車交通安全教室の実施
- (2) 自転車交通安全教育指導者研修会の実施
- (3) 調査研究委員会の開催
- (4) アンケート調査の実施
- (5) 自転車啓発パンフレットの作成・配布

4. 事業の考察と課題

- (1) 実施アンケートの考察と課題
- (2) 自転車交通安全教室（自転車点検）の考察と課題

5. 今後の事業展開について

6. 資料

「アンケート調査票」

1. 事業の概要

1. 事業の概要

◆事業の目的

近年、交通事故死者数や交通事故件数は減少傾向にあるものの、全交通事故に占める自転車事故の割合は依然として高く、自転車をめぐる交通情勢は厳しい状況にある。

本事業では、自転車が最初の身近な乗り物となる小学生に対して、自転車の安全な利用の仕方を学ぶ交通安全教育を推進すると同時に、地域での指導者養成を図りながら、地域全体の自転車運転技能やマナーを向上させ、安全・安心の街づくりに包括的に貢献することを目的とする。

◆テーマ

地域を核とした小学生への自転車交通安全教育の展開と体制の確立

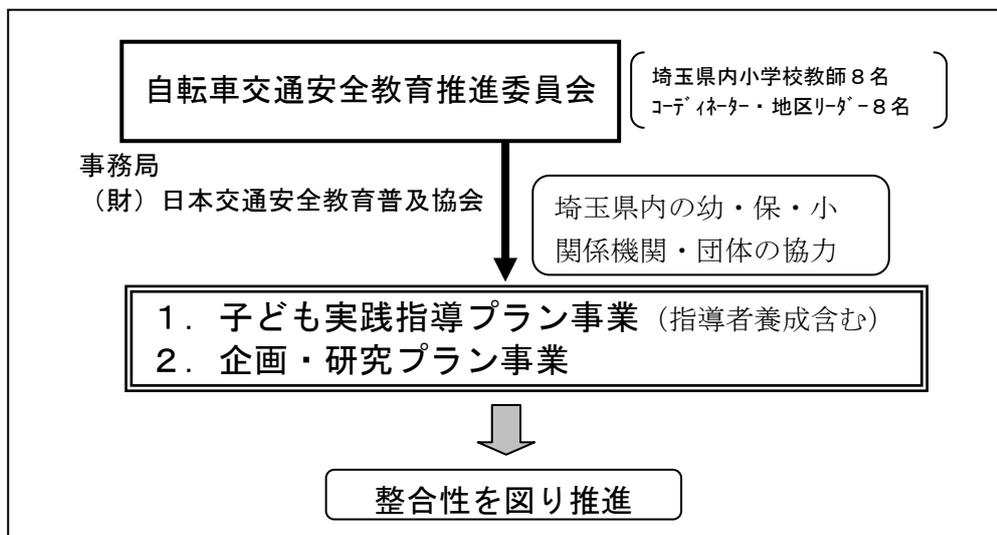
◆事業の背景

- ・自転車利用者が守る「ルール・マナー」態度が悪化（子供～大人）
- ・自転車事故が増加傾向（加害者：小学生 被害者：高齢歩行者）
- ・躰の一環とした小学生からの交通安全教育が重要

◆具体的目標

- ・地域を主体とした指導カリキュラムと体制の確立
- ・地域内での自転車事故削減と交通安全意識の向上

◆実施体制と事業



2. 自轉車交通安全教育推進委員会

2. 自転車交通安全教育推進委員会

◆目的

本委員会は「自転車交通安全教育地域一体型プロジェクト事業」（以下「本事業」という）の円滑且つ効果的な推進を図ることを目的とする。

◆事業

本委員会は、上記 1 の目的を達成するために次の事業を行う。

- ①委員会を開催し、必要な事項の検討等を行う。
- ②小委員会（調査研究委員会）の開催
- ③必要に応じて「本事業」への指導、協力、視察等を行う。
- ④その他、本委員会の目的達成に必要な事業を行う。

◆小委員会（調査研究委員会）

本委員会は、上記 2 の事業を推進するために、必要に応じて調査研究委員会を設置し、次の事業を実施する。

- ①小学校の児童・教師・保護者向け交通安全教育用教材の作成・普及
- ②小学生対象のアンケート分析に基づく研究協議
- ③その他、必要とされる事業

◆事務局

本委員会の事務局は、（財）日本交通安全教育普及協会に置き、次の事項を執行する。

- ①本委員会の開催等に関すること。
- ②各委員の委嘱や連絡調整等に関すること。
- ③関係資料等の作成や文書の処理等に関すること。
- ④その他、必要事項等に関すること。

◆その他

- ①本委員会の委員は、別紙のとおり。
- ②本委員会要項の実施に関し必要な事項は本委員会において決定する。
- ③本委員会要項は、平成 19 年 4 月より施行する。

自転車交通安全教育推進委員会 委員名簿（平成 20 年度）

※敬称略・順不動

No.	氏名	所属	備考
1	猪狩一史	朝霞市立朝霞第五小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
2	伊藤正和	狭山市立富士見小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
3	井本和良	上尾市立大谷小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
4	渡辺 中	富士見市立ふじみ野小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
5	関根祐一	所沢市立和田小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
6	永嶋和実	さいたま市立土合小学校 教頭	(調査研究委員兼務)
7	細内滋実	入間市立黒須小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
8	矢内 洋	さいたま市立慈恩寺中学校 教頭	(調査研究委員兼務)
9	柴崎正司	地区コーディネーター	
10	岩崎てる子	地区リーダー	
11	岡安節子	地区リーダー	
12	桜井英二	地区リーダー	
13	佐藤紀彰	地区リーダー	
14	星野裕子	地区リーダー	
15	渡辺雅子	地区リーダー	
16	小宮道子	地区リーダー	
17	吉野房子	地区リーダー	

※No.1～8 の各委員の所属は平成 20 年 4 月 1 日現在

※地区コーディネーター・地区リーダー

交通安全活動に限らず、日ごろ地域のために積極的かつ継続的にボランティア活動をされている警察関係、自治会関係、青少年育成関係等の方々です。

事務局

1	西 則光	(財)日本交通安全教育普及協会 常務理事
2	成迫俊美	(財)日本交通安全教育普及協会 主幹
3	石川英司	(財)日本交通安全教育普及協会 課長

3. 事業の内容

3. 事業の内容

(1) 自転車交通安全教室の実施

さいたま市・上尾市内の幼稚園、保育園、小学校の園児・児童を対象に自転車の実技体験を通じて安全意識を醸成する自転車交通安全教室を計7回実施。指導者の養成を図るため地区リーダー8名も参加。

①大成保育園（さいたま市）

期 日 : 平成20年5月27日（火） 午前10時45分～12時00分
会 場 : 大成保育園「講堂」
参加者 : 大成保育園園児 38名
指導者 : 交通指導員、地区リーダー（補助）
内 容 : 腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



②大成幼稚園（さいたま市）

期 日 : 平成20年6月18日（水） 午前10時45分～12時00分
会 場 : 大成幼稚園「講堂」
参加者 : 大成幼稚園園児 83名
指導者 : 交通指導員、地区リーダー（補助）
内 容 : 腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



③普門院幼稚園（さいたま市）

期 日 : 平成20年6月6日（金） 午前10時45分～12時00分
会 場 : 普門院幼稚園「講堂」
参加者 : 普門院幼稚園園児180名
指導者 : 交通指導員・地区リーダー（補助）
内 容 : 腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



④大成小学校（さいたま市）

期 日 : 平成20年7月19日（土） ① 9時30分～11時30分
② 13時00分～15時00分
会 場 : 大成小学校「グラウンド」
参加者 : 大成小学校 1年生～6年生152名、保護者35名
指導者 : 交通指導員、大宮警察署、地区リーダー（補助）
内 容 : 点検、乗車姿勢、ヘルメットの着用方法
基本走行（信号交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行）
総合走行



⑤芝川小学校（さいたま市）

期 日 ： 平成20年10月18日（土） 13時30分～15時00分

会 場 ： 芝川小学校「校舎前」

参加者 ： 芝川小学校 児童・保護者 約120名

指導者 ： 自転車整備士（ブリヂストンサイクル㈱）

内 容 ： 参加者が持参した自転車の点検指導



⑥原市小学校（上尾市）

期 日 ： 平成20年10月4日（土） ① 9時30分～11時30分

② 13時30分～15時30分

会 場 ： 原市小学校「グラウンド」

参加者 ： 原市小学校 1年生～6年生81名・保護者25名

指導者 ： 交通指導員、地区リーダー（補助）

内 容 ： 点検・乗車姿勢・ヘルメットの着用方法

基本走行（信号交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行）

総合走行



⑦大石南小学校（上尾市）

期 日：平成20年11月8日（土） ① 9時30分～11時30分
 ② 13時00分～15時00分

会 場：大石南小学校「グラウンド」

参加者：大石南小学校 1年生～6年生53名 保護者20名

指導者：交通指導員、地区リーダー（補助）

内 容：点検の仕方・乗車姿勢・ヘルメットの着用方法

基本走行(信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行)

総合走行



自転車安全運転証の交付

自転車交通安全教室に参加した小学校の児童に交付。法的な効力性はないが、本事業に参加した証として子ども達の誇りと励みになり、今後自転車を「車両」として利用する自覚や意識の定着化を促進するために交付。

🚲 自転車安全運転証			
氏名	○○○○	平成	年 月 日生
学校名	○○市立○○小学校	血液型	型
写真	番号 000000000000		
	交付 平成20年 月 日		
	財団法人日本交通安全教育普及協会		

(2) 自転車交通安全教育指導者研修会の実施（教職員対象）

埼玉県内の小中学校教員を対象に、児童への自転車に関する交通安全指導力の充実と資質の向上を図るため実施。

期 日 : 平成21年2月10日（火） 午後1時10分～午後4時30分

会 場 : 所沢市立和田小学校

参加者 : 40名

後 援 : 埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、所沢市教育委員会
埼玉県安全教育研究協議会、さいたま市交通安全・防災教育研究協議会

内 容 : 講 義 I 「自転車の基本的な指導」

公開授業「危険予測を取り入れた交通安全指導」

研究発表「自ら判断し、進んで健康で安全な生活をしようとする
児童の育成をめざして」

講 義 II 「新指導要領を生かした安全教育の進め方」



(3) 調査研究委員会の開催（年3回）

	日時・場所	協議内容
第1回	5月21日（水） 13:30～16:00 市民会館うらわ	本年度事業実施内容の検討 ①小学校1年生と保護者対象アンケート ・素案の作成と検討 ・実施日と対象校の検討 ②保護者向けパンフレット ・素案の作成と検討
第2回	6月25日（水） 13:30～16:00 市民会館うらわ	事業実施に向けての検討 ①小学校1年生と保護者対象アンケート ・原案の最終協議 ・実施日と対象校の決定 ②保護者向けパンフレット ・原案の検討協議
第3回	12月26日（金） 13:30～16:00 市民会館うらわ	事業実施に対する考察・協議 ①小学校1年生と保護者対象アンケート ・アンケート結果の考察 ②保護者向けパンフレット ・原案の最終協議 ・配布先等の決定

(4) アンケート調査の実施（小学校1年生と保護者）

- 目的： 児童用 自転車利用の実態と自転車の乗り方についての学習経験
保護者用 自転車利用の実態と自転車交通安全教育についての意識
- 実施日： 平成20年10月中旬
- 対象者： 埼玉県内小学校（無作為抽出）8校の1年生児童と保護者
- 集計数： 児童906名、保護者809名

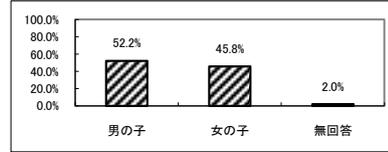
※「調査アンケート」は巻末資料参照

【集計結果】

◆児童アンケート結果（回答者数：906名）

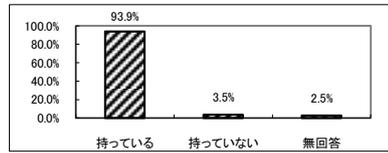
問1. あなたは

1. 男の子	473	52.2%
2. 女の子	415	45.8%
無回答	18	2.0%
合計	906	100.0%



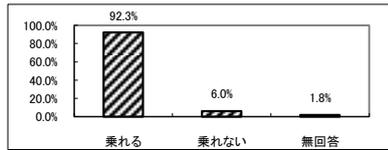
問2. あなたは自分の自転車を持っていますか。

1. 持っている	851	93.9%
2. 持っていない	32	3.5%
無回答	23	2.5%
合計	906	100.0%



問3. あなたは自転車に乗れますか。

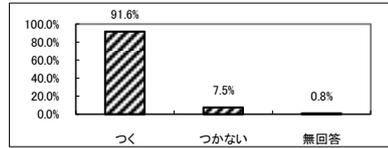
1. 乗れる	836	92.3%
2. 乗れない	54	6.0%
無回答	16	1.8%
合計	906	100.0%



問4からは、問3で「1. 乗れる」と答えた人のみ回答

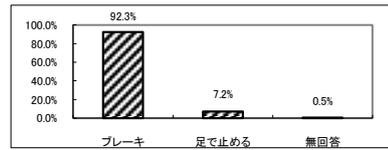
問4. 自転車に腰掛けた時、足が地面に付きますか。

1. つく	766	91.6%
2. つかない	63	7.5%
無回答	7	0.8%
合計	836	100.0%



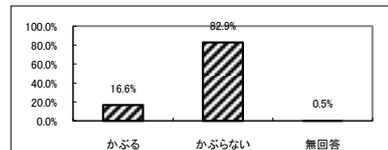
問5. 自転車を止める時、どうやって止めますか。

1. ブレーキをかける	772	92.3%
2. 地面に足をつけて止める	60	7.2%
無回答	4	0.5%
合計	836	100.0%



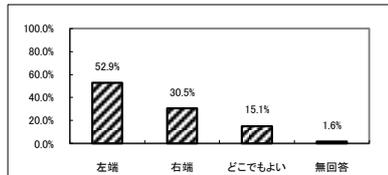
問6. あなたは、自転車に乗る時、ヘルメットをかぶりますか。

1. かぶる	139	16.6%
2. かぶらない	693	82.9%
無回答	4	0.5%
合計	836	100.0%



問7. 自転車は、道路の何処を走りますか。

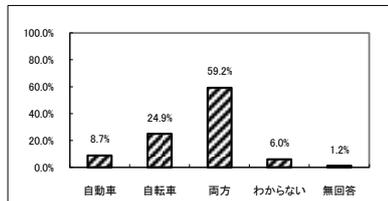
1. 左端	442	52.9%
2. 右端	255	30.5%
3. どこでもよい	126	15.1%
無回答	13	1.6%
合計	836	100.0%



問8. これがある所では、どうしますか。

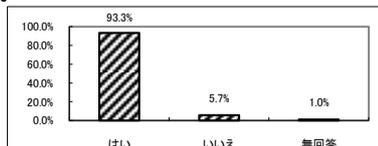


1. 自動車が止まる	73	8.7%
2. 自転車も止まる	208	24.9%
3. 自動車も自転車も止まる	495	59.2%
4. わからない	50	6.0%
無回答	10	1.2%
合計	836	100.0%



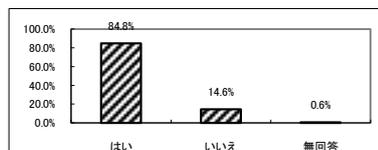
問9. あなたは自転車に乗る前に、自動車が来ていないか、周りを見て確かめますか。

1. はい	780	93.3%
2. いいえ	48	5.7%
無回答	8	1.0%
合計	836	100.0%



問10. あなたは、自転車に乗る時、家の人に言われている事がありますか。

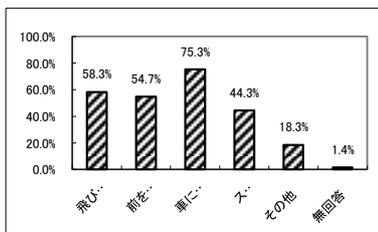
1. はい	709	84.8%
2. いいえ	122	14.6%
無回答	5	0.6%
合計	836	100.0%



問11. 問10の質問で、【はい】と答えた人だけ答えてください。

どんな事を言われますか。当てはまるもの全部を選んでください。(複数回答)

1. 飛び出さないで	413	58.3%
2. 前を見なさい	388	54.7%
3. 車に気をつけて	534	75.3%
4. スピードを出さないで	314	44.3%
5. その他	130	18.3%
無回答	10	1.4%
合計	1789	

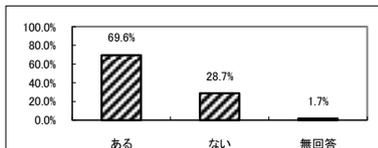


(5. その他) ※抜粋

- ・左右確認(12)
- ・一時停止(7)
- ・端を通りなさい(5)
- ・人や車にぶつからない(4)
- ・遠くに行かないで(9)
- ・一人の時は乗らないで(6)
- ・信号を守りなさい(5)
- ・帰宅時間(4)
- ・ブレーキをかける(両手ですぐに)(7)
- ・並進走行しない(6)
- ・ヘルメットを被る(4)

問12. あなたは、自転車に乗っていて、【危ない】【怖い】と思った事がありますか。

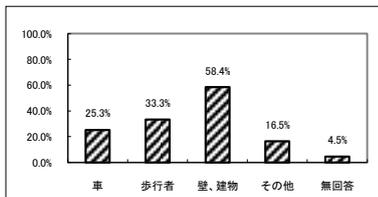
1. ある	582	69.6%
2. ない	240	28.7%
無回答	14	1.7%
合計	836	100.0%



問12で「ある」と答えた人だけ、答えてください。

問12-1 危ないと思ったのは、どんなことですか。(複数回答)

1. 車とぶつかりそうになった	147	25.3%
2. 歩いている人とぶつかりそうになった	194	33.3%
3. 壁や建物にぶつかりそうになった	340	58.4%
4. その他	96	16.5%
無回答	26	4.5%
合計	803	

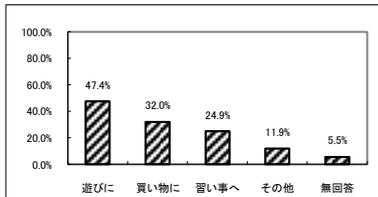


(4. その他) ※抜粋

- ・転びそうになった(28)
- ・自転車でぶつかりそうになった(18)
- ・坂道(6)
- ・縁石にぶつかりそうになった(3)
- ・転んだ時(5)
- ・木にぶつかりそうになった(5)

問12-2 危ないと思ったのは、どんな時ですか。(複数回答)

1. 遊びに行く時	276	47.4%
2. 買物に行く時	186	32.0%
3. 習い事に行く時	145	24.9%
4. その他	69	11.9%
無回答	32	5.5%
合計	708	

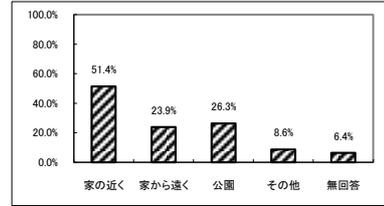


(4. その他) ※抜粋

- ・遊んでいる時(14)
- ・練習中(7)
- ・家に帰る時(5)
- ・公園に行く時(4)
- ・迎えに行く時(3)
- ・食事に行く時(2)
- ・サイクリング(2)
- ・家の前(2)

問12-3 危ないと思ったのは、何処ですか。(複数回答)

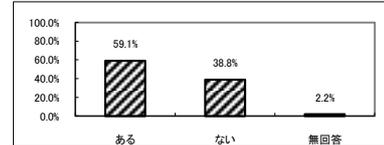
1. 家の近くの道路で	299	51.4%
2. 家から遠い道路で	139	23.9%
3. 公園で	153	26.3%
4. その他	50	8.6%
無回答	37	6.4%
合計	678	



(4. その他) ※抜粋
 ・習い事の教室の近く(5) ・家の周り(4) ・家から少し遠い所(3) ・坂道(3)

問13. 自転車に乗っていて、ぶつかった事がありますか。

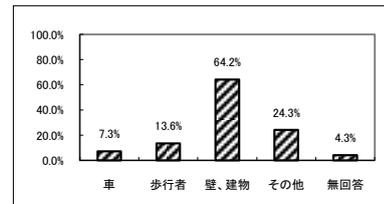
1. ある	494	59.1%
2. ない	324	38.8%
無回答	18	2.2%
合計	836	100.0%



問13で【ある】と答えた人だけ、教えてください。

問13-1 ぶつかったのは何ですか。(複数回答)

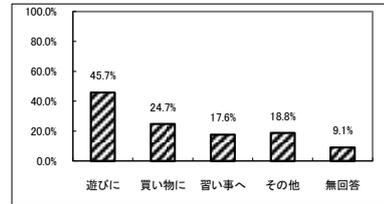
1. 車	36	7.3%
2. 歩いている人	67	13.6%
3. 壁や建物	317	64.2%
4. その他	120	24.3%
無回答	21	4.3%
合計	561	



(4. その他) ※抜粋
 ・自転車(62) ・木(12) ・電柱(7) ・車輪止め(5) ・縁石(5) ・草(5) ・遊具(4)

問13-2 ぶつかったのは、どんな時ですか。(複数回答)

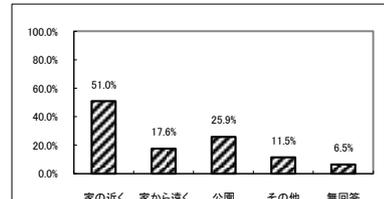
1. 遊びに行く時	226	45.7%
2. 買物に行く時	122	24.7%
3. 習い事に行く時	87	17.6%
4. その他	93	18.8%
無回答	45	9.1%
合計	573	



(4. その他) ※抜粋
 ・遊んでいる時(32) ・自転車の練習中(15) ・帰宅途中(5) ・買い物から帰る時(3) ・家の前で(3)

問13-3 ぶつかったのは、何処ですか。(複数回答)

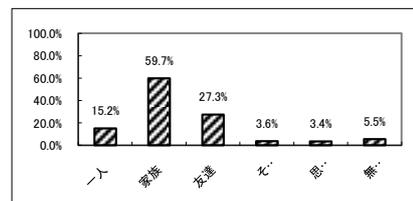
1. 家の近くの道路で	252	51.0%
2. 家から遠い道路で	87	17.6%
3. 公園で	128	25.9%
4. その他	57	11.5%
無回答	32	6.5%
合計	556	



(4. その他) ※抜粋
 ・家の前(4) ・壁(4) ・自転車置き場(3) ・家の近く(2) ・木(2) ・歩道(2)

問13-4 その時、あなたは誰といましたか。(複数回答)

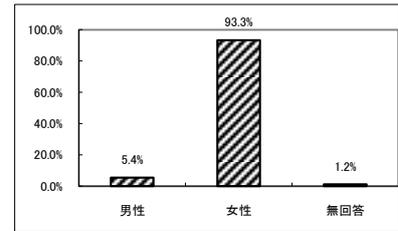
1. 一人	75	15.2%
2. 家族の人	295	59.7%
3. 友達	135	27.3%
4. その他	18	3.6%
5. 思い出せない	17	3.4%
無回答	27	5.5%
合計	567	



◆保護者アンケート結果（回答者数：809名）

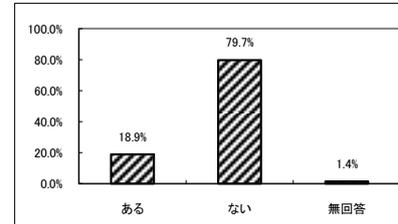
問1. あなたは

1. 男性	44	5.4%
2. 女性	755	93.3%
無回答	10	1.2%
合計	809	100.0%



問2. あなたは、自転車に乗っていて、今まで事故にあったことがありますか。

1. ある	153	18.9%
2. ない	645	79.7%
無回答	11	1.4%
合計	809	100.0%



（問2で「1. ある」と答えた方） ※回答は抜粋

問2-1. 時期

- ・高校生の頃(40)・小学生の頃(19)・中学生の頃(19)・1年位前(9)・幼稚園の頃(8)・最近(6)・2年位前(5)

問2-2. 場所

- ・信号のある交差点(6)・交差点(6)・信号のある丁字路(6)・見通しの悪い交差点(6)・交差点手前(6)
- ・信号の無い見通しの悪い交差点(6)・歩道(6)・信号の無い丁字路(6)・歩道の無い道路(6)
- ・一般道(6)・見通しの悪い道路(2)

問2-3. 相手

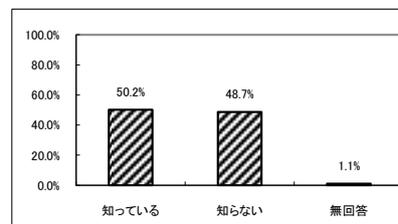
- ・車(12)・横から来た車(10)・左折車(8)・横から出て来た車(8)・右から来た車(8)
- ・正面から来た車(7)・正面から来た自転車(6)・左から来た車(6)・左から来た自転車(5)
- ・右折車(5)・駐車場から出て来た車(4)

問2-4. 原因

- ・相手の一時不停止(11)・運転者の脇見運転(5)・スピードを落とさなかったため(2)
- ・相手の飛び出し(2)

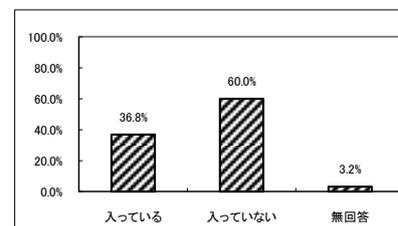
問3. あなたは、BAAマークを知っていますか。

1. 知っている	406	50.2%
2. 知らない	394	48.7%
無回答	9	1.1%
合計	809	100.0%



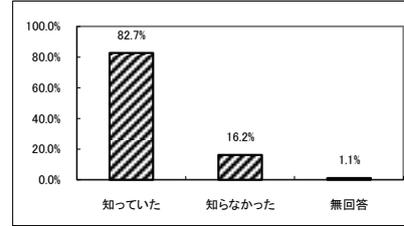
問4. あなたは、自転車の保険に加入していますか

1. 入っている	298	36.8%
2. 入っていない	485	60.0%
無回答	26	3.2%
合計	809	100.0%



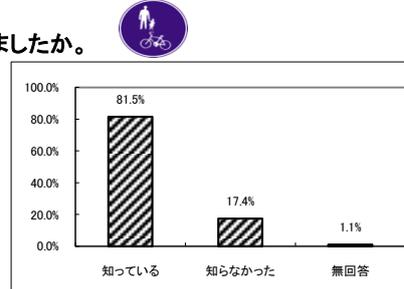
問5. あなたは、自転車が自動車と同じ車両であることを知っていましたか。

1. 知っていた	669	82.7%
2. 知らなかった	131	16.2%
無回答	9	1.1%
合計	809	100.0%



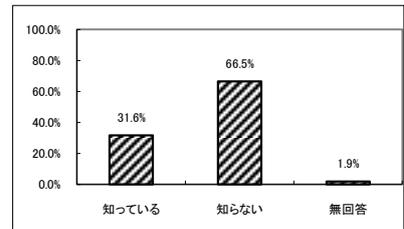
問6. 右の標識は「自転車が歩道を走行できる標識」であることを知っていましたか。

1. 知っている	659	81.5%
2. 知らなかった	141	17.4%
無回答	9	1.1%
合計	809	100.0%



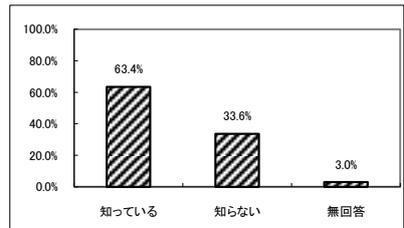
問7. あなたは、今年の6月から「13歳未満の子どもは自転車で歩道を通ることができる」ことを知っていますか。

1. 知っている	256	31.6%
2. 知らない	538	66.5%
無回答	15	1.9%
合計	809	100.0%



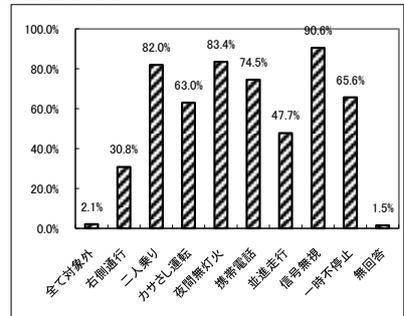
問8. あなたは、今年の6月から「保護者は13歳未満の子どもが自転車に乗るときヘルメットを着用させる」努力義務があることを知っていますか。

1. 知っている	513	63.4%
2. 知らない	272	33.6%
無回答	24	3.0%
合計	809	100.0%



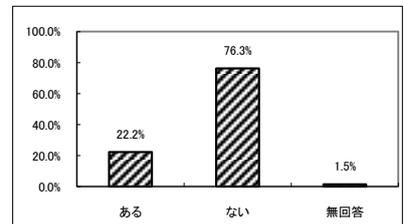
問9. 次の自転車走行において罰則があると思うもの全てを選んでください。(複数回答)

1. 全て罰則の対象にならない	17	2.1%
2. 右側通行	249	30.8%
3. 二人乗り	663	82.0%
4. カサさし運転	510	63.0%
5. 夜間の無灯火	675	83.4%
6. 携帯電話をしながら走る	603	74.5%
7. 並進走行（2台並んで走る）	386	47.7%
8. 赤信号の無視	733	90.6%
9. 一時不停止	531	65.6%
無回答	12	1.5%
合計	4379	



問10. あなたは、お子さんと一緒に自転車点検をしたことがありますか。

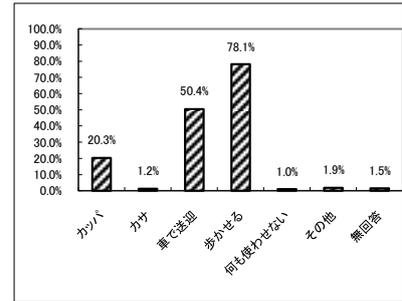
1. ある	180	22.2%
2. ない	617	76.3%
無回答	12	1.5%
合計	809	100.0%



問11. 雨天時についてお聞きします。

お子さんが自転車で外出しようとする時はどのようにしますか。あてはまるもの全てを選んでください。(複数回答)

1. カップを着用させる	164	20.3%
2. カサを使わせる	10	1.2%
3. 車で送迎する	408	50.4%
4. 歩かせる	632	78.1%
5. 何も使わせないで乗らせる	8	1.0%
6. その他	15	1.9%
無回答	12	1.5%
合計	1249	

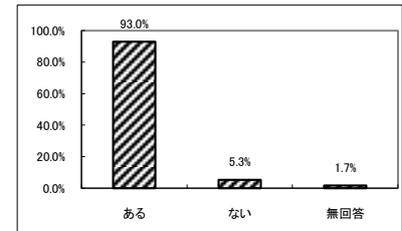


(6. その他) ※抜粋

・雨の日は外出させない(4) ・雨天時は自転車に乗せない(3) ・公共交通機関の利用(2)

問12. 同じ年頃の子どもが自転車を乗用していて、危ないと感じた事がありますか。

1. ある	752	93.0%
2. ない	43	5.3%
無回答	14	1.7%
合計	809	100.0%



◆問12で「ある」と答えた方にお聞きします。ご記入可能な範囲で結構ですので具体的な例をご記入ください。

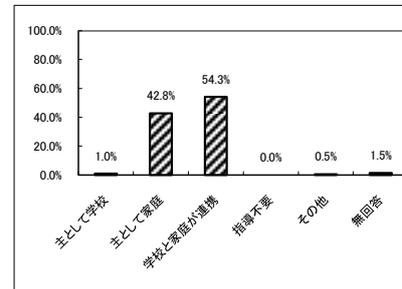
※抜粋

- ・スピードの出し過ぎ(131) ・急な飛び出し(84) ・一時不停止(60) ・ふらつき運転(42) ・並進走行(39)
- ・3人乗り・左右確認をしていない(27) ・信号無視(23) ・脇見運転(23) ・真中走行(22) ・競争(20)
- ・交差点での一時不停止(18) ・周囲の確認が出来ていない(15) ・後方確認をしない(14) ・蛇行運転(14)
- ・減速せずに曲がる(14) ・話しながらの並進走行(10) ・斜め横断(10) ・坂道でのスピードの出し過ぎ(10)
- ・周りをよく見ていない(9) ・交差点での飛び出し(8) ・前を見ていない(8) ・信号のない交差点での一時不停止(6)
- ・2人乗り(6) ・ヘルメットを着用していない(6) ・手放し運転(5) ・車が来てもよけない(5) ・暴走(5)

問13. お子さんへの自転車指導についてお聞きします。自転車指導は主として誰がすべきだと思いますか。

1つ選んでください。

1. 主として学校がすべき	8	1.0%
2. 主として家庭がすべき	346	42.8%
3. 学校と家庭が連携してすべき	439	54.3%
4. 指導する程のことはない(する必要はない)	0	0.0%
5. その他	4	0.5%
無回答	12	1.5%
合計	809	100.0%



(5. その他) ※抜粋

・学校と家庭と交通安全協会など(2)

問14. お子さんへの自転車指導(お子さんが自転車を乗用していない場合は交通安全指導)において、

日ごろからあなたが話している(教えている)ことがありましたらご記入ください。

※抜粋

- ・スピードを出さない(143) ・一時停止(68) ・左右確認(53) ・交差点では一時停止(44)
- ・飛び出さない(43) ・左側通行(42) ・車に気を付ける(37) ・前を見て走る(31) ・左側走行(31)
- ・脇見運転をしない(19) ・信号を守る(19) ・並進走行しない(18) ・ヘルメット着用(16)
- ・止まれの標識を守る(15) ・交差点での左右確認(13) ・周りをよく見る(11)
- ・青信号でも確認して渡る(9) ・道の端を走る(8) ・道路を渡るときの左右確認(7)
- ・夜間点灯(6) ・端を走る(6) ・信号を良く見る(4) ・周りを良く見る(4)

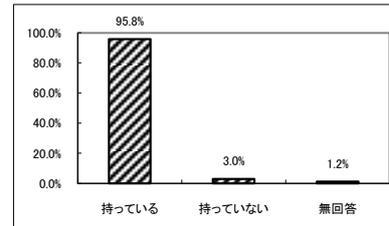
問15. お子さんへの自転車指導についてご意見、ご要望等がありましたらご記入ください。

※抜粋

- ・ 交通ルールの指導 (4) ・ 学校である程度同じルール、レベルで指導してほしい (2)
- ・ 学校で実際に自転車がぐちゃぐちゃになってしまうなどの事故の映像を見せて欲しい。
口で言うより目で見の方がどんなに怖い事か分かると思う
- ・ 余裕をもって走るよう指導して欲しい・基本的なルールを繰り返し学べる機会を作って欲しい
- ・ 実施指導を学校や家庭向けにも開催して欲しい・安全な場所で色々な模擬体験をさせてあげたい
- ・ 自転車に乗る時のマナーをしっかりと教えて欲しい。自転車に乗れるようになると行動範囲も広がるので車や歩く人にも注意するよう指導して欲しい
- ・ 大人が見本にならないマナーなので子供の指導だけでなく親子で交通安全指導を受けるべき

問16. お子さんは、自転車を持っていますか。

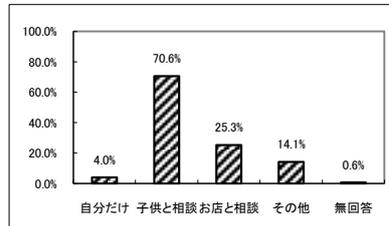
1. 持っている	775	95.8%
2. 持っていない	24	3.0%
無回答	10	1.2%
合計	809	100.0%



◆問16で「1. 持っている」と答えた方にお聞きします。

1. あなたは、お子さんの自転車を購入する時にどのようにして決めましたか。(複数回答)

1. 自分だけで	31	4.0%
2. お子さんと相談して	547	70.6%
3. 自転車店と相談して	196	25.3%
4. その他	109	14.1%
無回答	5	0.6%
合計	888	

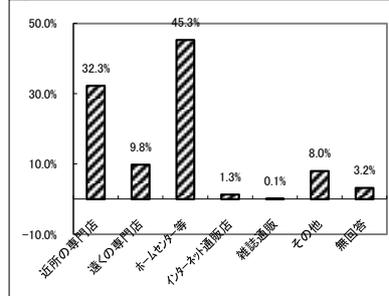


(4. その他) ※抜粋

- ・ お下がり (35) ・ いただき物 (29) ・ 夫婦で相談 (11) ・ 家族で相談 (11) ・ 家族と自転車店 (6)
- ・ 祖父母と相談 (2) ・ 子供と自転車店 (2) ・ 体にふさわしくない大き目はやめる
- ・ あまり高価でないもの ・ 祖父母と子供 ・ 祖父と子供

2. あなたは、お子さんの自転車を購入する時、どのようにして買いましたか。

1. 近所の自転車専門店	250	32.3%
2. 遠くの自転車専門店	76	9.8%
3. ホームセンターなどの量販店	351	45.3%
4. インターネットによる通信販売店	10	1.3%
5. 雑誌による通信販売	1	0.1%
6. その他	62	8.0%
無回答	25	3.2%
合計	775	100.0%

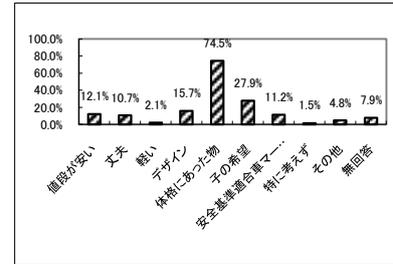


(6. その他) ※抜粋

- ・ いただき物 (16) ・ 玩具量販店 (13) ・ お下がり (11) ・ リサイクルショップ (5) ・ 玩具店 (3)
- ・ 人からのお古・不明・近くの自転車専門店とホームセンター
- ・ いただき物のメーカー品で安全性に問題が無かったから ・ 兄が自転車屋

3. あなたは、お子さんの自転車を購入する時、どのようなことを考えて買いましたか。(2つまで選択可)

1. 値段が安いから	94	12.1%
2. 丈夫だから	83	10.7%
3. 軽いから	16	2.1%
4. デザインがいいから	122	15.7%
5. 子どもの体格にあったものだから	577	74.5%
6. 子どもの希望だから	216	27.9%
7. 安全基準適合車マークがついているから	87	11.2%
8. 特に考えなかった	12	1.5%
9. その他	37	4.8%
無回答	61	7.9%
合計	1305	



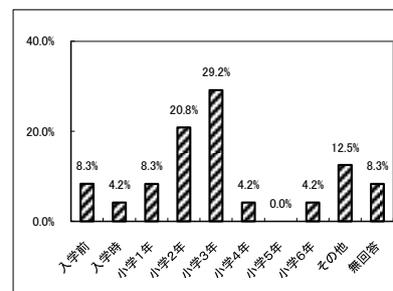
(9. その他) ※抜粋

・安心できるメーカーだから(2) ・自動ライト点灯機能(2) ・操作しやすい事・シンプル・ギア等の機能

◆問16で「2.持っていない」と答えた方にお聞きします。

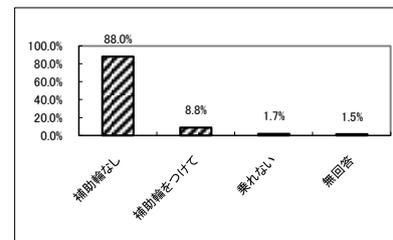
1. お子さんに自転車を持たせるのは、いつ頃がいいとお考えですか。

1. 小学校入学前	2	8.3%
2. 小学校入学時	1	4.2%
3. 小学1年生	2	8.3%
4. 小学2年生	5	20.8%
5. 小学3年生	7	29.2%
6. 小学4年生	1	4.2%
7. 小学5年生	0	0.0%
8. 小学6年生	1	4.2%
9. その他	3	12.5%
無回答	2	8.3%
合計	24	100.0%



問17. お子さんは、自転車に乗れますか。

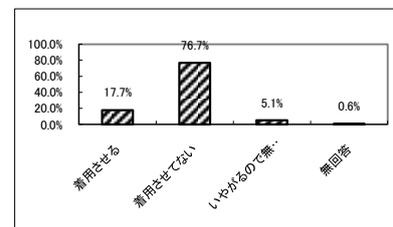
1. 補助輪なしで乗れる	712	88.0%
2. 補助輪をつけて乗れる	71	8.8%
3. 乗れない	14	1.7%
無回答	12	1.5%
合計	809	100.0%



◆問17で「1. 補助輪なしで乗れる」と答えた方にお聞きします。

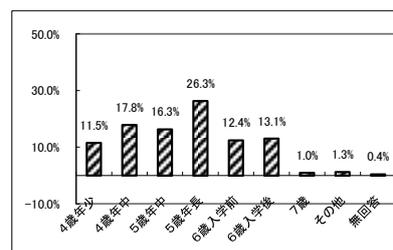
1. お子さんが自転車に乗る時、ヘルメットを着用させていますか。

1. 着用させている	126	17.7%
2. 着用させていない	546	76.7%
3. 子どもがいやがるので着用させていない	36	5.1%
無回答	4	0.6%
合計	712	100.0%



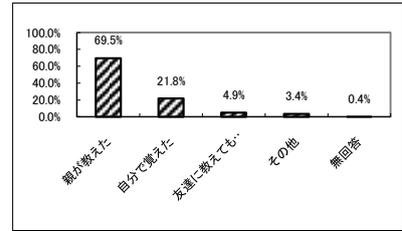
2. お子さんが自転車に乗れるようになったのはいつ頃ですか。

1. 4歳の年少	82	11.5%
2. 4歳の年中	127	17.8%
3. 5歳の年中	116	16.3%
4. 5歳の年長	187	26.3%
5. 6歳の小学校入学前	88	12.4%
6. 6歳の小学校入学後	93	13.1%
7. 7歳	7	1.0%
8. その他	9	1.3%
無回答	3	0.4%
合計	712	100.0%



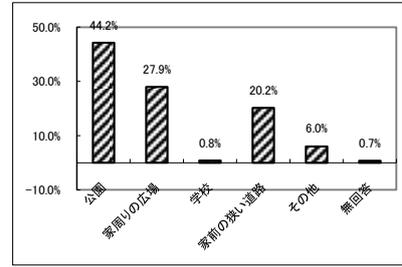
3. お子さんが自転車に乗れるようになったきっかけは何だと思いますか。

1. 親が教えた	495	69.5%
2. 自分でおぼえた	155	21.8%
3. 友だちに教えてもらった	35	4.9%
4. その他	24	3.4%
無回答	3	0.4%
合計	712	100.0%



4. お子さんが自転車に乗るようになった場所はどこですか。

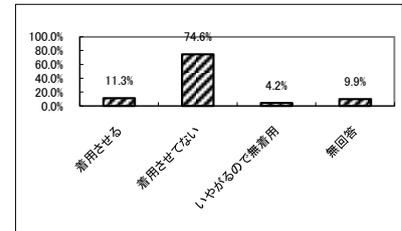
1. 公園	315	44.2%
2. 家の周りの広場	199	27.9%
3. 学校	6	0.8%
4. 家の前の狭い道路	144	20.2%
5. その他	43	6.0%
無回答	5	0.7%
合計	712	100.0%



◆問17で「2. 補助輪をつけて乗れる」と答えた方にお聞きします。

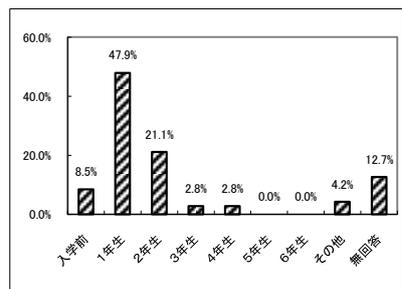
1. お子さんが自転車に乗る時、ヘルメットを着用させていますか。

1. 着用させている	8	11.3%
2. 着用させていない	53	74.6%
3. 子どもがいやがるので着用させていない	3	4.2%
無回答	7	9.9%
合計	71	100.0%



2. あなたは、お子さんがいつ頃から自転車を利用(補助輪なし)できるといいとお考えですか。

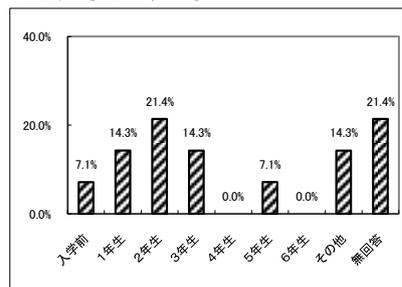
1. 小学校入学前	6	8.5%
2. 小学1年生	34	47.9%
3. 小学2年生	15	21.1%
4. 小学3年生	2	2.8%
5. 小学4年生	2	2.8%
6. 小学5年生	0	0.0%
7. 小学6年生	0	0.0%
8. その他	3	4.2%
無回答	9	12.7%
合計	71	100.0%



◆問17で「3. 乗れない」と答えた方にお聞きします。

1. あなたは、お子さんがいつ頃から自転車を利用(補助輪なし)できるといいとお考えですか。

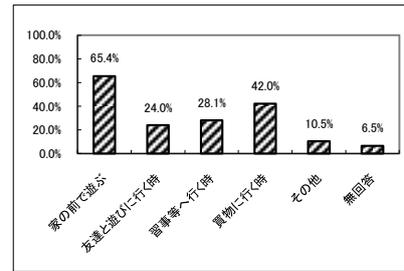
1. 小学校入学前	1	7.1%
2. 小学1年生	2	14.3%
3. 小学2年生	3	21.4%
4. 小学3年生	2	14.3%
5. 小学4年生	0	0.0%
6. 小学5年生	1	7.1%
7. 小学6年生	0	0.0%
8. その他	2	14.3%
無回答	3	21.4%
合計	14	100.0%



◆問17で「1.補助輪なしで乗れる・2. 補助輪をつけて乗れる」と答えた方にお聞きします。

1. お子さんは、どのような時に自転車を利用していますか。あてはまるもの全てを選んでください。(複数回答)

1. 家の前（保護者の目の届く範囲）で遊ぶ時	512	65.4%
2. 友達と遊びに行く時	188	24.0%
3. スポーツクラブの練習や習い事へ行く時	220	28.1%
4. 買い物に行く時	329	42.0%
5. その他	82	10.5%
無回答	51	6.5%
合計	1382	

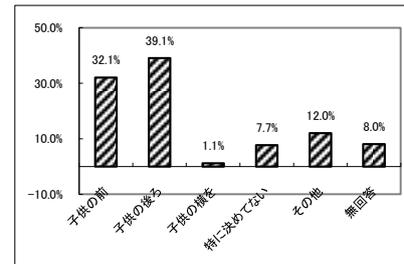


(5. その他) ※抜粋

- ・公園(24) ・親と一緒に(8) ・サイクリング(5) ・親と買い物(4) ・家族でサイクリング(3)
- ・親とサイクリング(2) ・練習時(2) ・友達の家へ行く(2) ・乗れるがほぼ使わない(2)
- ・子供の足では距離がある場所へ行く時・祖父の家

2. お子さんと別々の自転車で一緒に出かける時、あなたはどの位置を走りますか。

1. 子どもの前を走る	251	32.1%
2. 子どもの後ろを走る	306	39.1%
3. 子どもの横を走る	9	1.1%
4. 特に決めていない	60	7.7%
5. その他	94	12.0%
無回答	63	8.0%
合計	783	100.0%

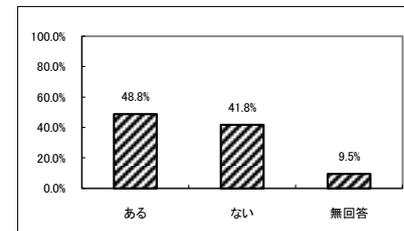


(5. その他) ※抜粋

- ・状況によって前か後ろ(27) ・まだ別々に出掛けていない(20) ・自転車では出かける(5)
- ・状況によって違う(5) ・自分は歩く(5) ・まだ車道は走らせない(4) ・出かける(3)
- ・自転車に乗らない(2) ・自転車を持ってない(2)

3. お子さんは今まで自転車で乗っていて、何かにつかりそうになったことはありますか。

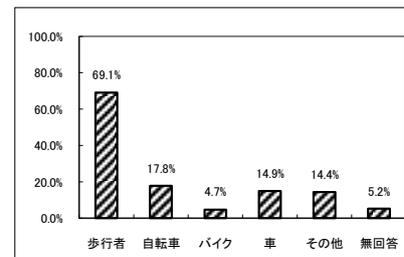
1. ある	382	48.8%
2. ない	327	41.8%
無回答	74	9.5%
合計	783	100.0%



上記3で「ある」と答えた方にお聞きします

3-1. 相手は次の中のどれですか、あてはまるもの全てを選んでください。(複数回答)

1. 歩いている人	264	69.1%
2. 自転車	68	17.8%
3. バイク	18	4.7%
4. 車	57	14.9%
5. その他	55	14.4%
無回答	20	5.2%
合計	482	

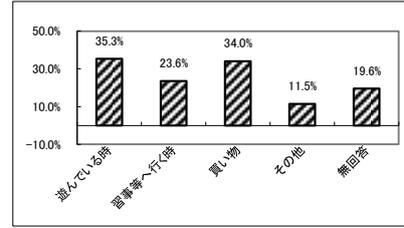


(5. その他) ※抜粋

- ・電柱(14) ・ガードレール(4) ・壁(4) ・生垣(3) ・単独・家の近く・段差・看板
- ・歩道・道の柵・曲り角・家の塀

3-2. どんな時でしたか、あてはまるもの全てを選んでください。(複数回答)

1. 遊んでいる時	135	35.3%
2. スポーツクラブの練習や習い事へ行く時	90	23.6%
3. 買い物に行く時	130	34.0%
4. その他	44	11.5%
無回答	75	19.6%
合計	474	



(4. その他) ※抜粋

- ・近くの公園に行く時・親とサイクリング・公園・家に帰る途中・友達の家へ行く時

3-3. ぶつかった場所は、どんな所ですか。具体的に記入してください。

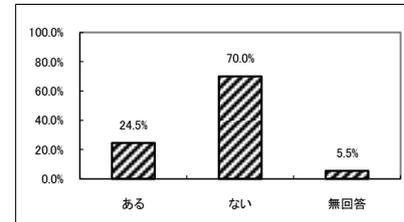
※抜粋

- ・歩道(17) ・道路(9) ・交差点(8) ・家の前の道路(7) ・曲り角(6) ・壁(5) ・電柱(5)
- ・狭い道路(5) ・狭い道(5) ・細い道(4) ・公園(4) ・住宅街の道路(3) ・普通の道(3)
- ・十字路口(3) ・信号のない交差点(3) ・狭い歩道(3) ・家の塀(3) ・止まっている車(2)
- ・見通しの悪い交差点(2) ・ブロック塀(2) ・歩道を走行中(2) ・歩道の支柱(2)
- ・丁字路(2) ・広場(2) ・家の近く(2) ・路上駐車(2) ・真直ぐの道
- ・自転車が乗れる広い公園・車幅が狭い道路

4. お子さんは今まで自転車に乗っていて、何かにぶつかったことはありますか。

(自転車に乗るための練習時は除きます)

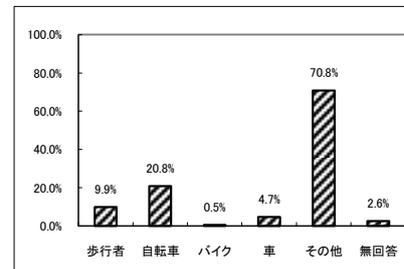
1. ある	192	24.5%
2. ない	548	70.0%
無回答	43	5.5%
合計	783	100.0%



上記4で「ある」と答えた方にお聞きします

4-1. 相手は、次の中のどれですか、あてはまるもの全てを選んでください。(複数回答)

1. 歩いている人	19	9.9%
2. 自転車	40	20.8%
3. バイク	1	0.5%
4. 車	9	4.7%
5. その他	136	70.8%
無回答	5	2.6%
合計	210	

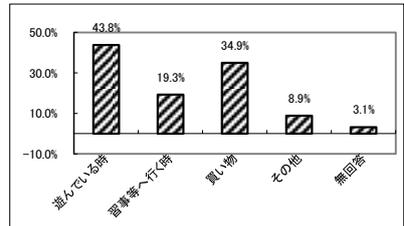


(5. その他) ※抜粋

- ・壁(30) ・電柱(14) ・塀(11) ・ガードレール(8) ・ブロック塀(7) ・ポール(5) ・植え込み(4) ・フェンス(4)
- ・車止め(4) ・縁石(4) ・柵(3) ・家の塀(3) ・生垣(2) ・木(2) ・歩道と車道のさかひの柵・コンクリート塀・柱

4-2. どんな時でしたか、あてはまるもの全てを選んでください。(複数回答)

1. 遊んでいる時	84	43.8%
2. スポーツクラブの練習や習い事へ行く時	37	19.3%
3. 買い物に行く時	67	34.9%
4. その他	17	8.9%
無回答	6	3.1%
合計	211	



(4. その他) ※抜粋

- ・帰宅途中(4) ・公園に行く時(3) ・サイクリング中(2) ・ぶつかるのをよけた時・曲り角
- ・公園・弟のお迎えで近所の保育園に行く時・散歩中・遊びに行く時

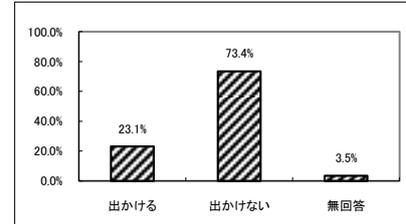
4-3. ぶつかった場所は、どんな所ですか。具体的に記入してください。

※抜粋

- ・家の近く(周り)(9) ・道路(8) ・歩道(8) ・公園(8) ・狭い歩道(3) ・塀(3)
- ・家の前の道路(3) ・近所の道路(2) ・歩道の植え込み(2) ・よそ見をされていて(2)
- ・住宅街の道路(2) ・マンションの敷地(2) ・植木(2) ・歩行者(2)

問18. お子さんは、自転車に乗って一人で出かけますか。

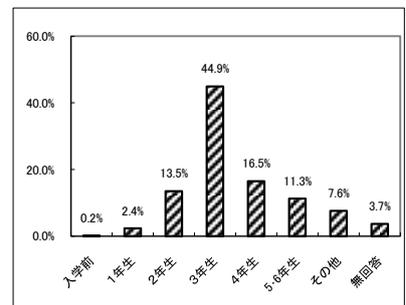
1. 出かける	187	23.1%
2. 出かけない	594	73.4%
無回答	28	3.5%
合計	809	100.0%



◆問18で「2. 出かけない」と答えた方にお聞きします。

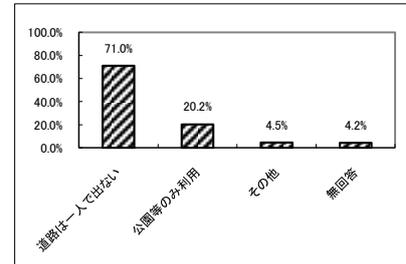
1. あなたは、いつ頃からお子さんに自転車に乗って一人で出かせても良いとお考えですか。

1. 小学校入学前	1	0.2%
2. 小学校1年生	14	2.4%
3. 小学校2年生	80	13.5%
4. 小学校3年生	267	44.9%
5. 小学校4年生	98	16.5%
6. 小学校5・6年生	67	11.3%
7. その他	45	7.6%
無回答	22	3.7%
合計	594	100.0%



2. お子さんは、今、どのように自転車を利用していますか。

1. 道路で自転車に乗る時には、一人で出かかずに家の人と一緒に出かける	422	71.0%
2. 公園や広場などで利用するようにし、道路では自転車に乗らない	120	20.2%
3. その他	27	4.5%
無回答	25	4.2%
合計	594	100.0%



(3. その他)

- ・家の周りで遊ぶ(10) ・自転車を持っていない(3) ・練習中(2) ・友達と一緒に乗る
- ・近くに一緒に買物に行く時・未だ少ししか乗れないのでどこへも行かない
- ・遊びに行く時・全く乗れず必要ない・買物・まだ乗らない・乗らない
- ・車の少ない家の周り(200m) や公園は自由に乗る買物等、車の多い通りは大人と一緒に
- ・田舎の祖父母の家に行った時に利用・危険ポイントを練習中・自転車嫌い・最近乗っていない

(5) 自転車啓発パンフレットの作成・配布（保護者向け）

家庭における自転車の基本的なルールやマナーの周知を図るために保護者向け自転車啓発パンフレットを作成配布

- 配布数 : 20,000部
- 配布先 : 主としてさいたま市および上尾市内の小学校140校
- 配布時期 : 平成21年3月初旬
- 配布対象 : 平成21年度新入学児童の保護者

自転車啓発パンフレット〈表〉

新1年生保護者対象

自転車交通安全掲示板

自転車事故から子どもを守るために!

近年、埼玉県下では、自転車による死亡事故が全国でも最も多く発生しており、極めて深刻な問題となっています。このような事故にお子さんが巻き込まれないため、お子さんを自転車に乗せるときには、下記のこと十分に留意してください。

自転車が行ける場所



●**車道**
自転車は、道路の車道の左側を通行します。



●**自転車歩道通行可の標識のある歩道**
この標識がある歩道では、自転車は歩道の車道寄りを通行することができます。



●**自転車横断帯**
自転車横断帯のあるところでは、その自転車横断帯を通行し、横断歩道を通行するとき、歩行者がいる場合は、自転車を押して渡りましょう。

基本的な乗り方



●**後ろを確認してから、乗るときも降りるときも「左」**
万一バランスを崩して倒れても、左側から乗降すれば車道側（右側）に倒れる危険性が軽減できます。



●**車が来ているかを確認して、ふらつきに気をつけて発進します。**
乗るときは、左右だけでなく、後ろも確認しましょう。



●**止まるときは左足を地面につけて、道路の左端に停止します。**
止まるときは、安全を確かめて、十分にスピードを落として道路の左端に停止しよう。

道路交通法が改正されました！

歩道通行ができるのは、

- ① 道路標識等で指定された場合
- ② 「13歳未満の子ども」「70歳以上の高齢者」「身体の不自由な人」は歩道通行可。
- ③ 車道または交通の状況からみてやむを得ない場合

自転車は「車両」です。
交通ルールを守って安全に
乗りましょう。



●**車道寄りや指定部分を通行**
歩道の車道寄りや白線と自転車の表示で指定された部分を通行しましょう。



●**歩行者優先を忘れずに**
歩行者の通行を妨げそうときは、徐行や一時停止を行い、むやみにベルを鳴らさないようにしましょう。

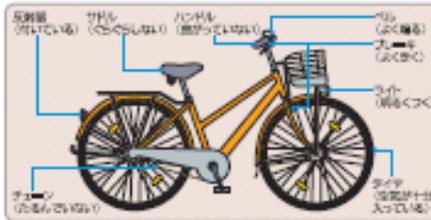


●**ヘルメットの着用**
子どもが自転車に乗るときに、保護者はお子さんにヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。

自転車に乗る前に知っておこう



●**体に合った自転車**
ハンドルを握ったとき少し前屈みになる。サドルにまたがったとき両足の先が地面につく。



●**自転車の安全点検**
乗る前に点検しましょう。故障が見つかったら、自転車安全整備店へ修理・整備に出しましょう。



●**購入時・点検時の注意**
安全性を示す各種マークがあります。保安・点検・品質については販売店などに尋ね下さい。



●**自転車の内輪差の危険**
車が右左折するときは、内輪差（曲がるとき後輪が前輪より内側を運ぶことによる前後輪の軌跡の差をいいます）が生じます。※特に大型車は内輪差が大きく、左後方が見えにくいので巻き込まれないように注意しましょう。



●**スピードの出し過ぎの危険**
※子どもは自転車に乗っているとき、まわりの様子に十分注意を向けることができません。スピードを出しているときはなおさらです。

路地に促って走りましょう

一時停止
自転車も止まる。一時止まって、左右の安全をしっかりと確かめよう。

自転車歩道通行可
自転車と歩行者が混雑しますが、歩行者が優先です。

●知って欲しい標識

※交差点では、信号や一時停止の標識がなくても必ず一時停止をして安全を確認しましょう。

おうちの方と一緒に確かめよう！

- 人は右、自転車は左を走ろう。
- スピードを出さず、ゆっくりと！
- ぶつからずに走ろう。
- ブレーキは後ろブレーキ→前ブレーキ
- 自転車の乗り降りのは左側から。
- 信号が青になっても右左の安全を確認めよう。

監修：月刊
(財)日本交通安全教育普及協会

〒108-0031 東京都港区北青山6-2-1010
TEL 03-4776-1831 FAX 03-4776-1835 URL http://www.jitfa.or.jp/

※本誌では最新の法規又は一部の掲載を致し、ます。

4. 事業の考察と課題

4. 事業の考察と課題

(1) 実施アンケートの考察と課題

◆小学校1年生のアンケートから（一部保護者アンケート結果を含む）

日常生活における自転車の活用度

1年生の段階ですでに93.9%が自分の自転車を所有し、92.3%が自転車に乗れると回答している。これは非常に高い割合である。

同様に保護者のアンケート結果からも95.8%の保護者が子どもに自分の自転車を所有させており、さらに子どもが「補助輪なしで乗れる」と回答した保護者は88%、「補助輪付きで乗れる」を含めると96.8%とやはり高い割合となる。

補助輪なしで自転車に乗れるようになった時期は4～5歳のいわゆる幼稚園・保育園の年中・年長期に集中しており、小学校入学前の段階ですでに84%を超える子どもが自転車に乗れるようになっている。

さらに、「おさんは自転車に乗って一人で出かけますか」の問いに「出かける」と回答した保護者が23.1%、概ね1年生の4人に一人の割合である。回答には自宅周辺のごく限られた目的地も含まれると考えられるが、運転技術が未熟で交通ルールも習熟していない状況では事故や転倒してけがをする可能性が一層高まる。最近、社会問題化している不審者対策等、防犯上からも何らかの対応が必要ではないだろうか。

また、「一人で出かけさせて良いと思う時期は」の問いでは、3年生と回答した保護者が44.9%と最も高かったことから、自転車に乗って一人で出かける年齢的傾向は小学1年生と小学3年生に増加する大きな山があり、その間も段階的に増えていく様相が明らかである。

ヘルメットの着用については児童のアンケートで「着用している」が16.6%、補助輪なしで自転車に乗れると回答した保護者のアンケートで「着用させている」が17.7%と低い割合である。反面、「道路交通法改正によるヘルメット着用努力義務」を知っていると回答した保護者は63%と高く、現状と認識に大きなズレが生じている。

おそらく保護者自身も今まで着用経験がなかった、まだ義務化ではない、費用もかかるなど理由は考えられるが、ヘルメットについては本当の必要性や重要性をあまり認識していないのが現状ではないかと思われる。

【1年生と保護者の比較】

Q. ヘルメットを着用して（させて）いる？

	1年生	保護者
着用して(させて)いる	16.6%	17.7%
着用して(させて)いない	82.9%	76.7%

Q. ヘルメット着用努力義務について

	保護者
知っている	63.4%
知らない	33.6%

自転車についての交通ルール・知識

「道路の通行部分」が52.9%、「一時停止」標識が59.2%の正答率であった。他のルールや標識も同様と考えられ、交通ルールをあまり良く理解せずに自転車を利用している児童が多いと思われる。

【1年生と4年生の比較】

Q. 自転車は道路のどこを走る？

	1年生(H20)	4年生(H19)
左はし	52.9%	71.7%
右はし	30.5%	27.6%

ヒヤリ体験・事故体験

自転車に乗っている児童で、69.6%がヒヤリ体験、59.1%が事故体験を経験している。これも高い割合である。対象物として、昨年度の4年生アンケート結果では自転車が最も多く、次いで車、歩行者となっており、主に「動いているもの」であったが、1年生では建物や壁・電柱・縁石など主に「固定しているもの」に対象物が変わっている。これは非常に興味深い。運転に集中していない、安全不確認など原因はいろいろ考えられるが、やはり運転操作技術の未熟が最大の原因であろう。

また、保護者から見た子どものヒヤリ体験、事故体験のアンケート結果からは「子どもがヒヤリ体験をした」が48.8%、「子どもが事故体験をした」が24.5%と回答しており、子どもと保護者の間には客観的な認識で大きなひらきが生じている。残念ながら保護者が子どものヒヤリ体験や事故体験の実態を見過ごしてしまい、完全に把握できずにいることがうかがえる。

【1年生と4年生の比較】

Q. ぶつかりそうになったことは？

	1年生	4年生
ある	69.6%	73.7%
ない	28.7%	25.0%

Q. ぶつかったことは？

	1年生	4年生
ある	59.1%	59.3%
ない	38.8%	37.6%

Q. ぶつかりそうになった対象物は？

	1年生	4年生
歩行者	33.3%	36.1%
自転車	2.2%	51.0%
車	25.3%	45.2%
建物・壁	58.4%	5.3%

Q. ぶつかった対象物は？

	1年生	4年生
歩行者	13.6%	16.3%
自転車	11.1%	41.0%
車	7.3%	20.2%
建物・壁	64.2%	12.7%

【1年生と保護者の比較】

	児童	※保護者
ぶつかりそうになった	69.6%	48.8%
ぶつかった	59.1%	24.5%

※・・・保護者から見た子どもの体験

全体から

1年生の段階でほとんどの児童が自転車を所持・利用しているにもかかわらず、自転車についての知識や運転技能が未熟なため、結果としてヒヤリ体験、事故体験につながってしまっている。現在、実技を含めた小学生への自転車交通安全指導は小学校3年生時に多く実施されているが、上記の実態をふまえると可能な限り低学年の段階から体系的・継続的な自転車指導を実施していくことが大変重要であり、今後の喫緊の課題であろう。

また、学校における自転車に関する指導の在り方を考えると、①「身体能力的な側面からの運転技能と自転車の性能・特性から安全な運転の仕方や運転姿勢を学ぶ内容」と、②「交通ルールやマナーから安全な運転の仕方を学ぶ内容」とを明確にしつつ、両面の指導を充実させていけるよう、指導・啓発の方法を再見する必要があるといえる。

①については、小学校での指導機会・時間は少ない。自転車に乗れるようになる時期の実態を鑑み、小学校低学年段階から中学年段階にかけて指導機会の充実を図りたい。低学年段階での指導では、技能に応じたコース別で指導ができるようにする等の工夫をしていく必要がある。

②については、小学3年生以上の交通安全教室で指導が行われているケースが多いと思われる。交通ルールやマナーの面から自転車の安全な利用の仕方を学ぶ機会についても自転車利用の実態に応じ、補助輪付きの自転車を用意する等の工夫をしながら小学1年生段階から、場合によっては幼児期から中学校段階までの継続的な指導が必要である。

さらには、学校での自転車に関する指導を保護者と共にできるよう公開する形で実施していくことと、繰り返しとなるが児童と保護者にとって本当に必要な適時に行っていくことが必要である。そうすることで、学校が一つのキー・ステーションとなり、家庭での自転車に関する指導内容をおしなべて高めていく一助となれる。

◆保護者のアンケートから

事故体験の状況から

2割に近い保護者が自転車利用時の事故経験を持つ。これは、昨年度の4年生保護者を対象としたアンケートでの結果とほぼ同様の割合である。子どもが学齢期に至るより以前、特に自身が高校生であった頃の割合が高く、次いで小学生・中学生と続いている。事故の状況としては場所が交差点、相手が車、原因が相手側の不注意や安全不確認のケースが多いが、本人の不注意による事故経験も多々見受けられる。

自転車の選び方・購入

購入の基準としては「子どもの体格にあったもの」が74.5%と高く、購入先はホームセンター等の量販店が45.3%とほぼ半数近くを占めており、自転車専門店を上回っている。買い物の形態が変化していることを考えると予想に難くない。ホームセンター等でもコーナーがしっかり分かれ専門の販売員がいる店が多いことから、購入時に各部の点検と体に合わせた調整を行うことはできると考えられる。一方、自転車専門店が少なくなっている今、よほど近いところに購入した店がある場合を除き、気軽に行って点検・整備という訳にはいかないことも考えられる。また、インターネットによる購入も今後さらに増えていくであろう。購入後には、子どもへの指導が必要になることを含め、保護者に正しい点検の仕方や体格に合わせた調整の仕方について、知識と技能が求められることになるが、現状は子どもと一緒に自転車点検をしたことがないという回答が大半を占めている。

「自転車安全基準」を示すBAAマークについては50.2%が「知っている」と回答しており、ほぼ保護者の2人に一人の割合である。製品不具合を原因とする自転車事故を可能な限り未然に防止し、保護者にとって安心して子どもを乗せられる自転車を購入する事は非常に大切であり一層の普及活動が必要である。また「自転車保険」加入率は36.8%と昨年度調査からやや上昇しているが依然高いとはいえない。最近の自転車に関する事故では高齢歩行者との接触事故、いわゆる自転車が被害者でなく「加害者」の立場となる事故が増加傾向にあり、賠償責任から自転車保険への加入促進が指摘されている。今後は、「自転車安全基準」・「自転車保険」ともにあらゆる機会を通じて保護者への普及啓発を図り、その必要性を認識してもらうことが重要である。

自転車についての知識・理解

「自転車が車両であること」や「歩道通行可の標識」についての認識度は80%を超えており高いといえる。特に「歩道通行可の標識」については、昨年度アンケートの55.6%に比べて認識度がかなり上昇している。関係機関、各団体の普及活動による保護者の関心度の高さであろう。

一方、平成 20 年の道交法改正による自転車通行の改正点についても「知らない」が 66.5%と高い。これは改正前より普段から歩道を通行していたケースも考えられ、関心の低さがうかがえる。ヘルメット着用努力義務についても 63.4%が「知っている」と回答しているがおよそ 3 人に一人はまだ周知されてはいない。

また、自転車の罰則については昨年度のアンケート結果とほぼ同じ数値となったが、「右側通行」は 30.8%と他の選択肢に比べ認識度が低い。保護者は子どもに自転車指導をする上で最も身近な立場にある。交通法規についてさらに理解を深める学習の場が必要である。そして罰則対象の有無にかかわらず、保護者自身がその危険性を感じた乗車行為については「やってはいけないこと＝躑」として子どもへの指導を期待したい。

【昨年度との比較】

Q. 「自転車歩道通行可」標識について

	本年度	昨年度
知っている	81.5%	55.6%
知らない	17.4%	43.4%



Q. 罰則の対象は? (複数回答)

	本年度	昨年度
全てならない	2.1%	1.8%
右側通行	30.8%	44.4%
二人乗り	82.0%	89.2%
傘さし運転	63.0%	56.5%
夜間無灯火	83.4%	88.4%
携帯電話	74.5%	67.6%
並進走行	47.7%	51.3%
信号無視	90.6%	93.0%
一時不停止	65.6%	69.7%

子どもの自転車の乗り方・子どもへの自転車指導

同世代の子どもの自転車乗用について 93%の保護者が危ないと感じている。具体的には「スピードの出し過ぎ」が最も多く、次いで「飛び出し」「一時不停止」と続いている。また日頃から子どもに指導している内容についても「スピードを出さない」が最も多く、保護者は子どもに対して「スピード」の危険性を強く感じており指導意識が高い。

全体から

子どもが自転車に乗れるようになる時期は、幼稚園・保育園の中期から小学校 2 年生頃の間で、特に年中後期から小学校 1 年生の間が中心になっており、巧緻性が大きく高まる時期とも合致している。ゆえに保護者にとっても子どもの自転車について関心が非常に強く、指導意識も高いことがアンケート結果からあらわれている。

しかしながら「子どものひやり体験・事故体験」では子どもと保護者の間に認識のズレが生じており、子どもの事故実態を保護者が完全に把握していないことがわかる。

また、自転車の指導はしているが内容が「保護者自らの経験に基づいた内容が中心に

なっている」ことがうかがえる。ここから生じる2つの問題ケースとして

- ①きまりやマナーは知っているが「これくらいは大丈夫(大丈夫だった)」という経験が指導する内容にマイナスの影響を及ぼすケース。例えばヘルメットについて63%の保護者が努力義務について知っていると答えているが、着用させているという回答は18%に満たないという点にも表れており、「知っている=している(させている)」とはなっていない。
- ②意外に知らないことが多かったり、忘れてしまっていることがあったりして、子どもに正しい指導ができていないケース

以上のことから、課題は「もしもの時を想定したところまでの意識」と「その具体的な備え」といえる。意識が高いだけに、この適時にしっかりと整備された状態で自転車を利用することの重要性や、ヘルメットの手軽さ・大きな効果について実感できる学習機会を意図的に設定していくことが必要であろう。

(2) 自転車交通安全教室（自転車点検）の考察と課題

昨年度同様、関係各幼稚園・保育園・小学校をはじめ関係機関・団体より多大なるご理解とご協力をいただき本年度も実施することができた。

成果

自転車交通安全教室では、経験豊かな交通指導員の工夫を凝らした教材活用や、楽しく、わかりやすい自転車の乗り方・ルールへの指導により、参加した園児・児童達も指導者の話に熱心に耳を傾け、明るく元気に自転車実技を体験する良い機会となった。

- ・実施地域の拡大
- ・カリキュラムの一部改善による学習効果の充実
- ・実施校(園)での交通安全意識の定着化の促進

実施地域については、昨年度同様、さいたま市内の幼稚園・保育園・小学校の5校(園)と、新たに隣接する上尾市内の小学校2校を加えた計7校(園)となり実施地域を拡大することができた。

また、児童の実技カリキュラムについては従来からの「信号機のない交差点」に遮蔽物で“壁”を設置して『危険を予測した横断』に改善した。参加児童は死角箇所配置した自転車や車を自分の目で確認し、その危険性に気付किながら危険を回避する運転方法をわかりやすく学習することができた。

昨年度から実施している実施校(園)では、参加した園児・児童はもちろん、教職員の交通安全意識が一層高まり、継続した交通安全指導の必要性・重要性についての意識の定着化が促進された。

整備不良による転倒や事故を防止する目的で実施している自転車点検では、昨年度同様、自転車整備士が児童・保護者の持ち込んだ自転車で、タイヤの空気圧・ブレーキの効き具合・サドルの調整など、日ごろ簡単にできる点検整備の方法について楽しく、わかりやすく指導した。

児童の中には昨年度の指導を受け、きちんと点検整備された自転車を持ち込んできた子ども達が多数参加していた。日常の点検整備を通して自分の自転車を大切にする気持ち、そして自転車を安全に運転する意識が次第に定着してきたことがうかがえた。

考察と課題

小学校入学前後の子どもにとって自転車は「身近な乗り物」となる反面、知識や技能の未熟による「ヒヤリ体験」や「ぶつかった体験」を経験している現実アンケート結果より明らかである。この時期に自転車実技を主とした体験学習をすることは、これから交通社会への第一歩を踏み出す子どもにとって貴重な体験であり極めて有意義である。昨今、自転車の実技指導は小学校3年生時に多く実施されているが、現在

の自転車事故の実情や利用実態をふまえると、さらに低学年時からの体系的・継続的な指導が必要であり、学校現場や教育行政に理解と協力を求めて行きたい。

また、本年度の課題として

- ・交通安全意識が定着した実施校数の一層の広がり
- ・地区リーダーの指導力の一層の充実
- ・保護者の参加数増加

が挙げられる。

実施校(園)で交通安全意識が定着しつつある中、今後はその実施校(園)を中心として近隣の小学校等にも本事業を広めながら、“地域”としての交通安全意識の定着化を図ることが必要である。子どもに対する交通安全教育は体系的・継続的に行い、その習慣化を図ることが重要であり、それら“地域”のニーズに応えるためにもきちんとしたフォローアップ体制の確立が必要となってくる。本事業においても「地域を主体とした指導体制の確立」を具体的目標の一つとしており、その一翼を担う立場として“地区リーダー”の方々にご協力をお願いしている。

今までは本事業の趣旨にご賛同の上、補助的な立場で事業へのご協力をお願いしていたが、今後はその知識と経験を活かした指導者として地域に貢献していただき、さらには実施小学校等と関係機関の間をも調整できるような「地域のコーディネーター」としての活躍を期待していきたい。

また、地域での交通安全意識の定着化促進は保護者の理解と協力が不可欠である。小学校1年生段階ではほとんどの子どもが保護者と一緒に自転車で行動している。その際に交通安全教育を躰の一環として意識しながら基本的なルールやマナーを指導してもらうために、保護者の参加数増加を図っていきたい。

5. 今後の事業展開について

5. 今後の事業展開について

◆ 本年度の事業実績をふまえた今後の事業展開

地域における「自転車指導実践校」の定着校数の拡大

自転車指導が定着した実施校(園)数の一層の拡大を図り、地域全体での交通安全意識を高め、自転車事故の減少をめざす

地域における指導体制の確立

実施校(園)への指導、地域内での実施校(園)拡充活動、行政・団体など関係機関との連携など、地域のコーディネーターとして活躍できる人材を育成し、地域の指導体制を確立する。

「幼・小1・小4」の自転車に関する利用や学習経験の年齢別実態を把握

本年度のアンケート結果をふまえ、既に自転車が身近な存在となる小学校入学前の園児・保護者を対象に自転車利用に関するアンケートを実施し年齢別の実態を把握する。

教材を活用した自転車交通安全教育の一層の充実

教材や指導書を活用して、教師・家庭が相互に連携し、指導としつけの一貫性を持たせながら、子どもの交通安全意識の定着化と正しい交通行動の習慣化を目指す。

6. 資料

じてんしゃ
自転車についてのアンケート (1年生児童対象)

これはテストではありません。

こたえは のなかからあてはまるばんごうをえらんで、ばんごうに〇をつけてください。
わからないところは、せんせいにきいてください。

とい1. あなたは

1. おとこのこ 2. おんなのこ

とい2. あなたは、じぶんのじてんしゃをもっていますか。

1. もっている 2. もっていない

とい3. あなたは、じてんしゃにのれますか。

1. のれる 2. のれない

ここからのしつもんは、とい3で「1. のれる」とこたえた人がさいごまでかいてください。

「2. のれない」とこたえた人はかくひつようはありません。

とい4. じてんしゃにのったとき、あしがじめんにつきますか。

1. つく 2. つかない

とい5. じてんしゃをとめるとき、どうやってとめますか。

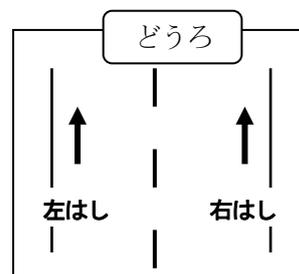
1. ブレーキをかける 2. じめんにあしをつけてとめる

とい6. あなたは、じてんしゃにのるとき、ヘルメットをかぶりますか。

1. かぶる 2. かぶらない

とい7. じてんしゃは、どうろのどこをはしりますか。

1. 左はし
2. 右はし
3. どこでもよい



とい8. これがあるところでは、どうしますか。



1. じどうしゃがとまる
2. じてんしゃがとまる
3. じどうしゃもじてんしゃもとまる
4. わからない

とい9. あなたは、じてんしゃにのるまえに、じどうしゃがきていないか、まわりをみてたしかめますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

とい10. あなたは、じてんしゃにのるとき、いえのひとにいわれていることがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

とい11. とい10のしつもんで、「ある」とこたえたひとだけ、こたえてください。

どんなことをいわれますか。あてはまるものぜんぶをえらんでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とびださないで | 2. まえをみなさい |
| 3. くるまにきをつけて | 4. スピードをださないで |
| 5. その他 () | |

とい12. あなたは、じてんしゃにのっていて、「あぶない」「こわい」とおもったことはありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

とい12で「ある」とこたえたひとだけ、こたえてください。

とい12-1 あぶないとおもったのは、どんなことですか。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. くるまとぶつかりそうになった | 2. あるいているひととぶつかりそうになった |
| 3. かべやたてものにぶつかりそうになった | |
| 4. その他 () | |

とい12-2 あぶないとおもったのは、どんなときですか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. あそびにいくとき | 2. かいものにいくとき |
| 3. ならいごとに行くとき | 4. その他 () |

とい12-3 あぶないとおもったのは、どこですか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. いえのちかくのどろで | 2. いえからとおいどろで |
| 3. こうえんで | 4. その他 () |

とい13. じてんしゃにのっけていて、ぶつかったことはありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

とい13で「ある」とこたえたひとだけ、こたえてください。

とい13-1 ぶつかったのはなんですか。

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1. くるま | 2. あるいているひと | 3. かべやたてもの |
| 4. その他() | | |

とい13-2 ぶつかったのは、どんなときですか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. あそびにいくとき | 2. かいものにいくとき |
| 3. ならいごとにいくとき | 4. その他() |

とい13-3 ぶつかったのは、どこですか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. いえのちかくのどろで | 2. いえからとおいどろで |
| 3. こうえんで | 4. その他() |

とい13-4 そのとき、あなたはだれといいましたか。

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1. ひとり | 2. かぞくのひと | 3. ともだち |
| 4. そのほか | 5. おもいだせない | |

アンケートは、これでおわりです。ありがとうございました。

自転車の交通安全についてのアンケート（保護者用）

保護者のみなさまへ

自転車は気軽に利用できる便利な乗り物ですが、近年、自転車がかかわる事故が増加傾向を示しています。

また、自転車が歩行者に対して加害責任を問われる事故も増加しています。当協会では自転車利用の実態を調査いたしたく、小学1年生とその保護者の方を対象にアンケートをお願いしております。

学校名や氏名のご記入は不要です。また集計後、学校名も発表いたしません。下記設問の回答は、□の中からあてはまる番号を選び、別紙「回答用紙」の番号に○をつけたり、ご記入は可能な範囲で具体的にご記入ください。
回答できない質問項目は未記入でもかまいません。

(財) 日本交通安全教育普及協会

【ご記入いただいている方（以下、「あなた」）に伺います】

問1. あなたは

1. 男性 2. 女性

問2. あなたは、自転車に乗っていて、今まで事故にあったことがありますか。

1. ある 2. ない

◆問2で「1. ある」と答えた方にお聞きします。ご記入可能な範囲で下記項目についてご記入ください。

1. 時期	(例：中学生の頃、最近など)
2. 場所	(例：信号機のない見通しの悪い交差点など)
3. 相手	(例：正面からきた自転車など)
4. 原因	(例：運転者の脇見、相手の前方不注意など)

問3. あなたは、BAAマークを知っていますか（右図参照）。

1. 知っている 2. 知らない



自転車協会が認定した安全基準適合のマーク

問4. あなたは、自転車の保険に加入していますか。

1. 入っている 2. 入っていない

問5. あなたは、道路交通法では、自転車が自動車と同じ車両として扱われることを知っていましたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問6. 右の標識は、「自転車が歩道を通行できる標識」であることを知っていましたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった



標識
(普通自転車が歩道を通行できることの指定)

問7. あなたは、今年の6月から「13歳未満の子どもは自転車で歩道を通ることができる」ことを知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問8. あなたは、今年の6月から「保護者は13歳未満の子どもが自転車に乗るときヘルメットを着用させる」努力義務があることを知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問9. 次の自転車走行において罰則があると思うもの全てを選んでください。

1. 全て罰則の対象にならない	2. 右側通行	3. 二人乗り
4. カサさし運転	5. 夜間の無灯火	6. 携帯電話をしながら走る
7. 並進走行（2台並んで走る）	8. 赤信号の無視	9. 一時不停止

問10. あなたは、お子さんと一緒に自転車点検をしたことがありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問11. 雨天時についてお聞きします。お子さんが自転車で外出しようとする時はどのようにしますか。あてはまるもの全てを選んでください。

1. カップを着用させる	2. カサを使わせる	3. 車で送迎する
4. 歩かせる	5. 何も使わせないで乗らせる	
6. その他（		）

問12. お子さんと同じ年頃の子どもが自転車に乗っているのを見て、危ないと感じたことはありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

◆問12で「ある」と答えた方にお聞きします。ご記入可能な範囲で結構ですので具体的にご記入ください。

--

問13. お子さんへの自転車指導についてお聞きします。自転車指導は主として誰がすべきだと思いますか。1つを選んでください。

1. 主として学校がすべき	2. 主として家庭ですべき
3. 学校と家庭が連携してすべき	4. 指導する程のことはない（する必要はない）
5. その他（	）

問14. お子さんへの自転車指導（お子さんが自転車に乗っていない場合は交通安全指導）において、日ごろからあなたが話している（教えている）ことがありましたらご記入ください。

--

問15. お子さんへの自転車指導についてご意見、ご要望等がありましたらご記入ください。

--

【お子さんの自転車利用などについて伺います】

問 16. お子さんは、自転車を持っていますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

◆問 16 で「1. 持っている」と答えた方にお聞きします。

1. あなたは、お子さんの自転車を購入する時にどのようにして決めましたか。

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| 1. 自分だけで | 2. お子さんと相談して | 3. 自転車店と相談して |
| 4. その他 (| |) |

2. あなたは、お子さんの自転車を購入する時、どのようにして買いましたか。

- | | | |
|-------------------|--------------|------------------|
| 1. 近所の自転車専門店 | 2. 遠くの自転車専門店 | 3. ホームセンターなどの量販店 |
| 4. インターネットによる通信販売 | 5. 雑誌による通信販売 | |
| 6. その他 (| |) |

3. あなたは、お子さんの自転車を購入する時、どのようなことを考えて買いましたか。
あてはまるものを2つまで選んでください。

- | | | |
|--------------|-----------------------|---------|
| 1. 値段が安いから | 2. 丈夫そうだから | 3. 軽いから |
| 4. デザインがいいから | 5. 子どもの体格にあったものだから | |
| 6. 子どもの希望だから | 7. 安全基準適合のマークがついているから | |
| 8. 特に考えなかった | 9. その他 (|) |

◆問 16 で「2. 持っていない」と答えた方にお聞きします。

1. お子さんに自転車を持たせるのは、いつ頃がいいとお考えですか。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 小学校入学前 | 2. 小学校入学時 | 3. 小学1年生 |
| 4. 小学2年生 | 5. 小学3年生 | 6. 小学4年生 |
| 7. 小学5年生 | 8. 小学6年生 | 9. その他 (|

問 17. お子さんは、自転車に乗れますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. 補助輪なしで乗れる | 2. 補助輪をつけて乗れる | 3. 乗れない |
|--------------|---------------|---------|

◆問 17 で「1. 補助輪なしで乗れる」と答えた方にお聞きします。

1. お子さんが自転車に乗る時、ヘルメットを着用させていますか。

- | | | |
|------------|-------------|-----------------------|
| 1. 着用させている | 2. 着用させていない | 3. 子どもがいやがるので着用させていない |
|------------|-------------|-----------------------|

2. お子さんが自転車に乗れるようになったのはいつ頃ですか。

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| 1. 4歳の年少 | 2. 4歳の年中 | 3. 5歳の年中 |
| 4. 5歳の年長 | 5. 6歳の小学校入学前 | 6. 6歳の小学校入学後 |
| 7. 7歳 | 8. その他 | |

3. お子さんが自転車に乗れるようになったきっかけは何だと思えますか。

- | | | | |
|----------|------------|----------------|--------|
| 1. 親が教えた | 2. 自分でおぼえた | 3. 友だちに教えてもらった | 4. その他 |
|----------|------------|----------------|--------|

4. お子さんが自転車に乗るようになった場所はどこですか。

- | | | | | |
|-------|------------|-------|-------------|--------|
| 1. 公園 | 2. 家の周りの広場 | 3. 学校 | 4. 家の前の狭い道路 | 5. その他 |
|-------|------------|-------|-------------|--------|

◆問17で「2. 補助輪をつけて乗れる」と答えた方にお聞きします。

1. お子さんが自転車に乗る時、ヘルメットを着用させていますか。

- | | | |
|------------|-------------|-----------------------|
| 1. 着用させている | 2. 着用させていない | 3. 子どもがいやがるので着用させていない |
|------------|-------------|-----------------------|

2. あなたは、お子さんがいつ頃から自転車を利用（補助輪なし）できるといいとお考えですか。

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 小学校入学前 | 2. 小学1年生 | 3. 小学2年生 |
| 4. 小学3年生 | 5. 小学4年生 | 6. 小学5年生 |
| 7. 小学6年生 | 8. その他 () | |

◆問17で「3. 乗れない」と答えた方にお聞きします。

1. あなたは、お子さんがいつ頃から自転車を利用（補助輪なし）できるといいとお考えですか。

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 小学校入学前 | 2. 小学1年生 | 3. 小学2年生 |
| 4. 小学3年生 | 5. 小学4年生 | 6. 小学5年生 |
| 7. 小学6年生 | 8. その他 () | |

◆問17で「1. 補助輪なしで乗れる」「2. 補助輪をつけて乗れる」と答えた方にお聞きします。

1. お子さんは、どのような時に自転車を利用していますか。あてはまるもの全てを選んでください。

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 家の前（保護者の目の届く範囲）で遊ぶ時 | 2. 友だちと遊びに行く時 |
| 3. スポーツクラブの練習や習い事へ行く時 | 4. 買い物に行く時 |
| 5. その他 () | |

2. お子さんと別々の自転車で一緒に出かける時、あなたはどの位置を走りますか。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 子どもの前を走る | 2. 子どもの後ろを走る | 3. 子どもの横を走る |
| 4. 特に決めていない | 5. その他 () | |

3. お子さんは今まで自転車に乗っていて、何かにつつかりそうになった（見ていてヒヤッとした）ことはありますか。（自転車に乗るための練習時は除きます）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

上記3で「ある」と答えた方にお聞きします。

3-1. 相手は、次の中のどれですか。あてはまるもの全てを選んでください。

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1. 歩いている人 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 車 | 5. その他 () | |

3-2. どんな時でしたか、あてはまるもの全てを選んでください。

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 遊んでいる時 | 2. スポーツクラブの練習や習い事へ行く時 |
| 3. 買い物に行く時 | 4. その他 () |

3-3. ぶつかりそうになった場所は、どんな所ですか。具体的に記入してください。

--

4. お子さんは今まで自転車に乗っていて、何かにぶつかったことはありますか。
(自転車に乗るための練習時は除きます)

1. ある	2. ない
-------	-------

上記4で「ある」と答えた方にお聞きします。

4-1. 相手は、次の中のどれですか、あてはまるもの全てを選んでください。

1. 歩いている人	2. 自転車	3. バイク
4. 車	5. その他 ()	

4-2. どんな時でしたか、あてはまるもの全てを選んでください。

1. 遊んでいる時	2. スポーツクラブの練習や習い事へ行く時
3. 買い物に行く時	4. その他 ()

4-3. ぶつかった場所は、どんな所ですか。具体的に記入してください。

--

問 18. お子さんは、自転車に乗って一人で出かけますか。

1. 出かける	2. 出かけない
---------	----------

◆問 18で「2. 出かけない」と答えた方にお聞きします。

1. あなたは、いつ頃からお子さんに自転車に乗って一人で出かけさせても良いとお考えですか。

1. 小学校入学前	2. 小学校1年生	3. 小学校2年生
4. 小学校3年生	5. 小学校4年生	6. 小学校5・6年生
7. その他		

2. お子さんは、今、どのように自転車を利用していますか。

1. 道路で自転車に乗る時には、一人で出かけずに家の人と一緒に出かける
2. 公園や広場などで利用するようにし、道路では自転車に乗らない
3. その他 ()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

自転車交通安全教室指導案（小学生対象）

- 参加数 : 児童60～80名（目安）
 場所 : 小学校グラウンド
 指導者 : 6～12名
 準備物 : 自転車、ヘルメット、拡声器、メジャー、模擬信号機、一時停止標識
 テント（遮蔽物用）、パイロン、ゼッケン等
- 内容 : 下図参照（設定：参加数60名、午前実施）

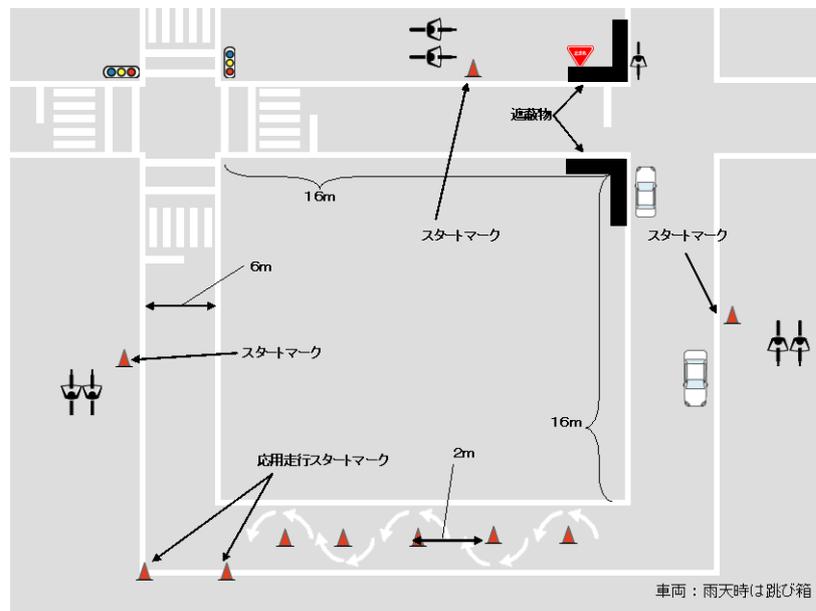
時間	項目	児童						保護者			
		1コート			2コート						
		青	赤	黄	青	赤	黄				
9:00～9:30	30	受付	参加者確認・ゼッケン配布	受付・ゼッケン着用							
9:30～9:35	5	開会・説明	班編成	班編成							
9:35～9:45	10		開会・説明	開会・説明							
9:45～9:55	10	基本指導	点検・乗車姿勢	安全点検と乗車姿勢							
9:55～10:10	15	基本走行	ローテーション方式	A	B	C	A	B	C	レクチャー 見学	
10:10～10:20	10	休憩			休憩						
10:20～10:35	15	基本走行	ローテーション方式	B	C	A	B	C	A		
10:35～10:50	15		ローテーション方式	C	A	B	C	A	B		
10:50～11:25	35	応用走行	おさらい・パイロンスラローム	応用走行							
11:25～11:30	5	まとめ	おやくそく	まとめ							

	1コート		2コート	
青ゼッケン	No. 1～10	10名	No. 11～20	10名
赤ゼッケン	No. 1～10	10名	No. 11～20	10名
黄ゼッケン	No. 1～10	10名	No. 11～20	10名

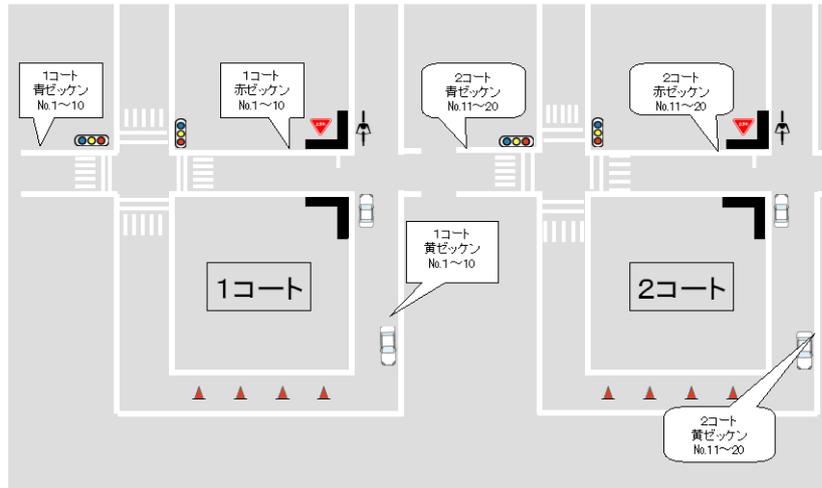
■ 基本走行

- A=信号機のある交差点の右折
- B=信号機のない交差点の右折
- C=駐停車車両の側方通行

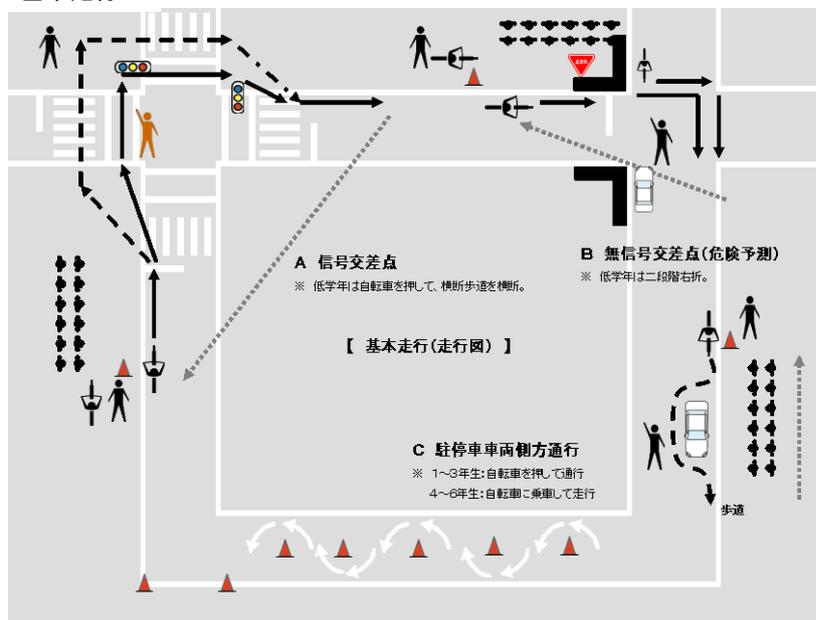
コースレイアウト ※2面設定（雨天時は体育館）



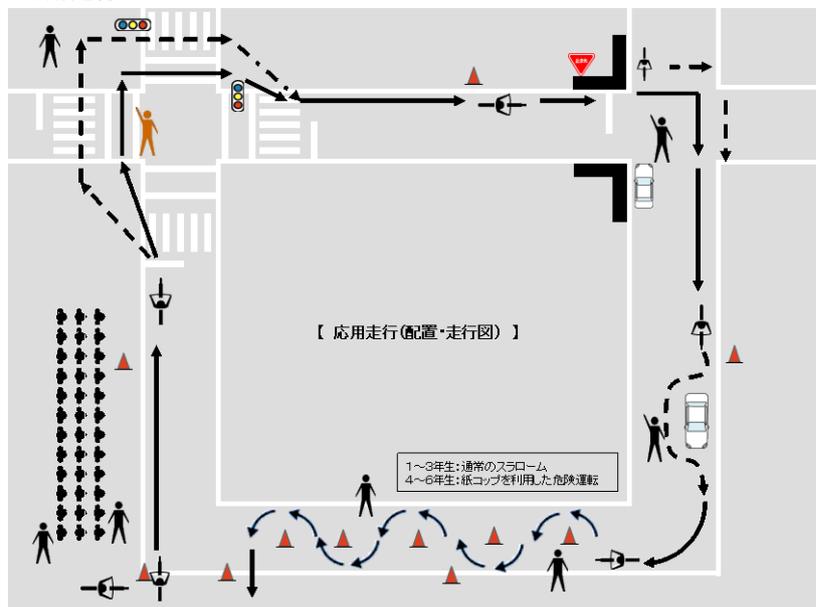
参加者スタート位置(午前9:55～)



基本走行



応用走行

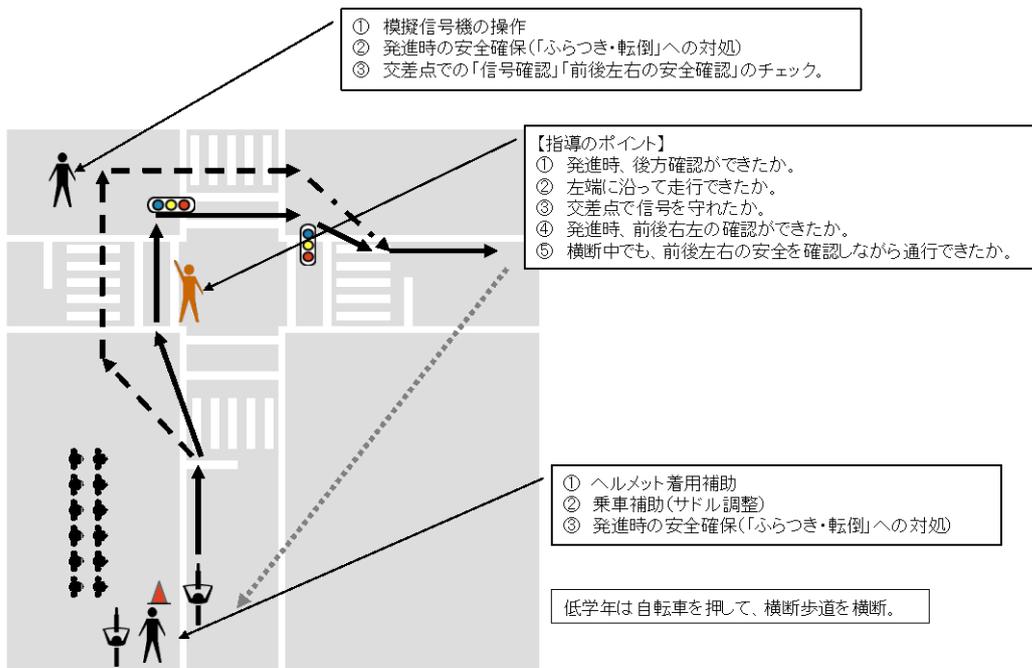


指導案A 信号機のある交差点の右折《15分》

指導のねらい	信号機のある交差点で2段階右折を行わず、安全確認も不十分のまま右折をしている児童がしばしば見受けられる。ここでは信号機のある交差点での右折の方法を、実技を通して身に付けさせ、交差点での事故防止を図る。
学習内容	① 信号機のある交差点の右折(2段階右折)方法を身に付けさせる。 ② 安全に通行するための心構えや安全確認の仕方を身に付けさせる。
準備	模擬信号機2基、自転車2～3台、パイロン、(雨天の場合は自転車横断帯マット)

内 容	留 意 点
(1) 「挨拶」と「自己紹介」 (2) 「学習のねらい」の説明 と 注意事項 (3) 場面設定の説明 (4) 指導者による説明 → 模範走行(正しい右折の仕方) ① ブレーキを握って、後方を確認し、自転車に左側から乗車する。 ② 後方の安全を確かめてから発進する。 ③ 信号を確認する。 ④ 赤信号では、横断歩道手前の停止線で停止する。その際、後方の安全を確認してから停止する。 ⑤ 信号が青になるのを待つ間、他の車両の動きに注意して安全確認する。 ⑥ 青信号に従って、前後左右の安全を確認しながら、自転車横断帯を徐行し、横断する。 《低学年》 青信号に従って、前後左右の安全を確認しながら、横断歩道を自転車押して、歩いて横断する。 ⑦ 横断中でも、他の車が来ないか、前後左右の安全を確認しながら横断する。 ⑧ 前方の交差点角の手前で、安全を確かめてから停止する。 ⑨ 左折する車両がある場合は先に左折させる。 ⑩ 後方の安全確認した後、自転車から降りて、自転車を停止線まで移動させ、右折する方向の信号が青になるのを待つ。 《低学年》 横断歩道を横断し終えたら、歩道上で、右折する方向の信号が青になるのを待つ。 ⑪ 青信号になったら、前後左右の安全を確認して発進する。 《低学年》 青信号になったら、前後左右の安全を確認して横断歩道上を歩いて横断する。 ⑫ 横断中でも、他の車が来ないか、前後左右の安全を確認しながら横断する。 ⑬ 停止する位置で、後方の安全確認をして、道路左端に停止して、自転車の左側から降りる。 (5) 参加者全員で正しい右折の実技を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶は大きな声で元氣よく、明るい雰囲気です。 ○ 平易な言葉で簡潔に。 ○ 説明には、日頃のヒヤリ体験を引用するなどして、具体的な話をする。 《 実技体験での注意点 》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 常に安全走行に気をつけさせる。 ○ 自転車のふらつきがある場合には、注意しながら走行させる。 ○ 後方の安全確認が形だけにならないように、後方の安全確認で何が 見えたかを確認してみるとよい。 ○ 停止線で確実に停止させる。 ○ 交差点では徐行すること、右左折車の車両の有無に注意すること、歩行者の保護が必要であることに触れる。 《 年齢差に関する指導方法の違い 》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 1～3年生は安全のために自転車を押して横断歩道を横断する。 ○ 4～6年生自転車横断帯を乗って渡る。

信号機のある交差点の右折（指導のポイントと役割）

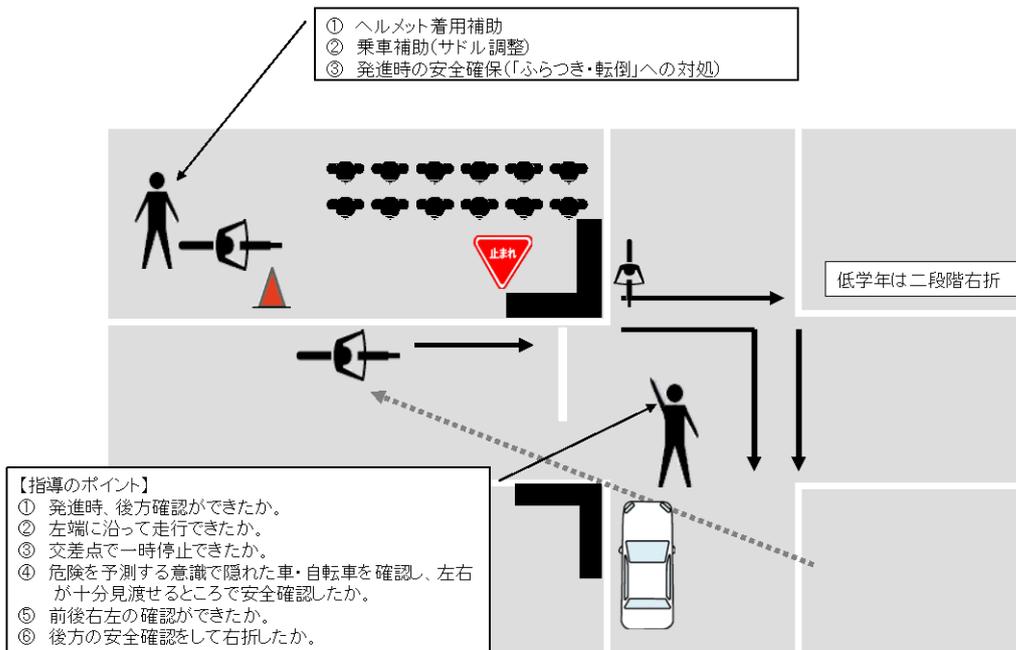


指導案 B 信号機のない交差点の右折《15分》

指導のねらい	自転車乗用中の事故の多くは、信号機のない交差点での安全不確認や一時不停止による出会い頭事故である。ここでは、見通しの悪い信号機のない交差点での正しい右折方法や危険を予測した安全確認の仕方を理解させ、実践させることによって、交差点での事故防止を図る。
学習の内容	① 見通しの悪い信号機のない交差点の右折方法を身に付けさせる。 ② 安全に通行するための心構えや安全確認の仕方を身に付けさせる。
準備	一時停止標識1基、自転車2～3台、パイロン

内 容	留 意 点
(1) 「挨拶」と「自己紹介」 (2) 「学習のねらい」の説明と 注意事項 (3) 場面設定の説明 (4) 指導者による説明 → 模範走行(正しい右折の仕方) ① ブレーキを握って、後方を確認し、自転車に左側から乗車する。 ② 後方の安全を確かめてから発進する。 ③ 交差点の手前で、後方の安全を確認し、道路の左端に寄って、停止線で一時停止する。 《低学年》 交差点の手前で、後方の安全を確認し、道路の左端によって、停止線で停止し、自転車の左側から降りる。 ④ 危険を予測し、隠れて見えない車・自転車を確認するまで前進。左右を見渡せる位置で、前後左右の安全を十分に確認して発進する。 ⑤ 徐行しながら、交差点の向こう側まで進む。 ⑥ 前後左右の安全を確認しながら、交差点の端に沿って右折する。この時車の接近に伴う危険や歩行者の保護に十分注意する。 《低学年》(2段階右折) 交差点の向こう側できたら、後方を確認し、一時停止する。右折する方向に向きを変え、左右が見渡せる位置で、前後左右の安全を十分に確認して発進する。 ⑦ 停止する位置で、後方の安全確認をして、道路左端に停止して、自転車の左側から降りる。 (5) 参加者全員で正しい右折の実技を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶は大きな声で元気よく。明るい雰囲気である。 ○ 平易な言葉で簡潔に。 ○ 説明には、日頃のヒヤリ体験を引用するなどして、具体的な話をする。 <p>《 実技体験での注意点 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 常に安全走行に気をつけさせる。 ○ 自転車のふらつきがある場合には、注意しながら走行させる。 ○ 後方の安全確認が形だけにならないように、後方の安全確認で何が見えたかを確認してみるとよい。 ○ 停止線で確実に停止させる。 ○ 交差点では徐行すること、右折車の車両の有無に注意すること、歩行者の保護が必要であることに触れる。 ○ 信号機のない交差点では、交差点に入る手前で標識・標示の有無にかかわらず一時停止をして安全確認することが、特に重要であることを強調する。 ○ 交差点の中心あたりを通る小回り右折は、違反であるとともに、安全確認がしづらく、たいへん危険であることに気付かせる。 ○ 信号機のある交差点と異なり走行しながら交差点内で右折できるが、直進車や左折車などの車両の接近の危険が感じられる時には、一時停止して安全な状態になってから再び走行を続けさせるようにする。 <p>《 年齢差に関する指導方法の違い 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1～3年生は2段階右折。 ○ 4～6年生は徐行しながら交差点の端に沿って曲がる。

信号機のない交差点の右折 (指導のポイントと役割)

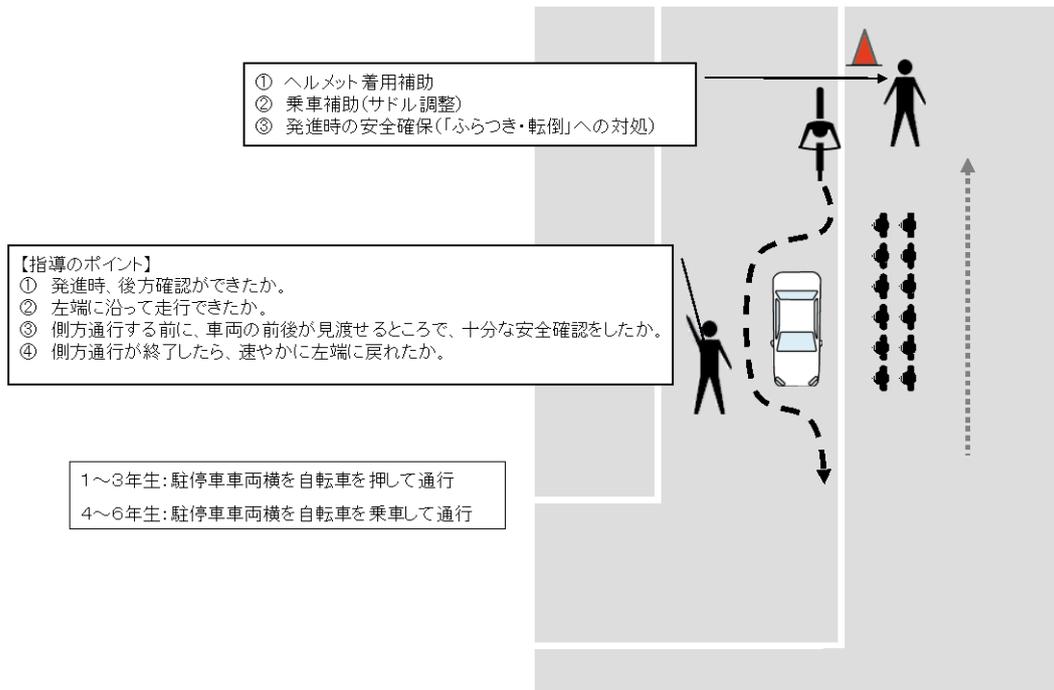


指導案C 駐停車車両の側方通行《15分》

指導のねらい	駐停車車両の側方を通行する際、安全確認が不十分になりがちであるため、事故の危険性が高くなる。ここでは、駐停車車両の側方通行の実技体験を通して安全確認の重要性を理解させ、実践させることによって、駐停車車両の側方通行時の事故防止を図る。
学習の内容	① 正しい駐停車車両の側方通行の方法を身に付けさせる。 ② 安全に通行するための心構えや安全確認の仕方を身に付けさせる。 ③ 自転車が通行できない路側帯があることを理解させる。
準備	駐停車車両1台、自転車2～3台、パイロン

内 容	留 意 点
(1) 「挨拶」と「自己紹介」 (2) 「学習のねらい」の説明 と 注意事項 (3) 場面設定の説明 (4) 指導者による説明 → 模範走行(正しい通行の仕方) ① 自転車は道路左端を走行しなければいけない。 ② ブレーキを握って、後方を確認し、自転車に左側から乗車する。 ③ 後方の安全を確かめてから発進する。 ④ 駐停車車両の手前で後方の安全確認をして一時停止・降車し、道路左端の走行が可能かどうか、再度確認する。 ⑤ 通行できれば、道路の中央にはみ出して、駐停車車両の右側方を通行するので、その車両の前方と後方の安全確認を十分に作る。 ⑥ 接近してくる車がなく、安全であれば注意しながら、駐停車の右側方を自転車を押しながら歩いて通行する。 ※4～6年生は自転車に乗車して走行。 ⑦ この時に、車のドアが急に開いたり、車両が急発進することもあるので、十分に注意する。また、車の陰からの歩行者等の飛び出しにも注意する。 ⑧ 側方通行が終わったら、速やかに道路左端に戻る。 (5) 参加者全員で正しい駐停車車両の側方通行の実技を行う。	○ 挨拶は大きな声で元気よく。明るい雰囲気。 ○ 平易な言葉で簡潔に。 ○ 説明には、日頃のヒヤリ体験を引用するなどして、具体的な話をする。 《 実技体験での注意点 》 ○ 常に安全走行に気をつけさせる。 ○ 自転車のふらつきがある場合には、注意しながら走行させる。 ○ 後方の安全確認が形だけににならないように、後方の安全確認で何が見えたかを確認してみるとよい。 ○ 徐行とは「車両等が直ちに停止することができるような速度で進行すること」をいう。 ○ 1～3年生は自転車を降りて、自転車を押して車の横を通り抜ける。 4～6年生は自転車に乗車して横を通り抜ける。

駐停車車両の側方通行（指導のポイントと役割）



指導案 危険走行体験《15分》

指導のねらい	危険走行中、前方に障害物があったり、車や人が飛び出してきたりした場合に、避けきれないで大きな事故につながる危険性がある。ここでは、危険走行体験を通して、安全運転との違いに気付かせ、危険走行の危険性を認識させる。
学習の内容	① 危険走行は、自転車の特性から車体全体がふらつくことに気付かせる。 ② ハンドル操作、前方の情報収集、とっさの危険回避が困難になることを理解させる。
準備	自転車2～3台、パイロン、傘(もしくは水の入ったコップ)

内 容	留 意 点
<p>(1) 「挨拶」と「自己紹介」</p> <p>(2) 「学習のねらい」の説明 と 注意事項</p> <p>(3) 危険走行体験</p> <p>① 最初に指導者がモデル走行を行う。</p> <p>② 最初に両手運転で走行させる。その際に、それぞれのパイロンの手前で指導者が右・左の合図を出す。その合図に従って、それぞれのパイロンを一回転しながら走行させる。</p> <p>③ 水の入ったコップを持って同様に走行させる。</p> <p>④ 両手運転と危険運転の違いについて、話し合いをする。 「急停止できない」「操作が不安定になる」「とっさの操作がしづらい」「前が見づらい」などに気付かせる。</p>	<p>○ 挨拶は大きな声で元気よく。明るい雰囲気です。</p> <p>○ 平易な言葉で簡潔に。</p> <p>○ 説明には、日頃のヒヤリ体験を引用するなどして、具体的な話をする。</p> <p>《 実技体験での注意点 》</p> <p>○ 体験をさせる際には、危険を伴うこともあるので、あらかじめ参加者には安全について十分に心がけるよう指導しておく。</p> <p>○ 技術を競うものではなく、危険運転では操作がしにくいことを理解させるものであることに留意する。</p> <p>○ 危険走行では自転車の操作が不安定となるため、歩行者や自転車との衝突の危険性が非常に高くなることを理解させる。</p>

実施にあたっての留意点など

【 指導上の基本事項 】

1. 指導にあたっては、児童がわかりやすいように、できるだけ平易な用語を用いて説明する。
2. 児童と接する場合は、挨拶など大きな声で元気よく行き、明るい雰囲気でするように努める。
3. 時には、日頃の行動を振り返らせるなどして、できるだけ具体的に理解できるようにする。
4. 今回少ない時間で多くの児童に指導するため、学習内容に集中できるよう、右折・左折・停止等を行う「手信号」については、省くこととする。その分、交通行動を起こす際に安全を十分に確認してから行うことの重要性に気付かせ、理解させるようにする。
5. 児童には、可能な限り「体験ができる」ようにスタッフがお互い協力し合うようにする。

【 指導中の安全確保 】

1. コースの設営・撤収は参加者が会場にいる間は絶対に行わない（特に車両の移動）。
2. 指導補助を担当する者は、児童が指導に集中できるように努め、勝手な行動をさせないようにする。
3. 児童が体験走行する場合は、必ず自転車用ヘルメットを着用することとし、指導補助者が正しい着用の手助けを行う。
4. 走行中の危険を防止するため、指導補助者は、児童の体格に合わせた自転車のサイズを選び、サドルの調整を行い、児童に乗車させるようにする。
5. 走行を終えスタート地点に戻る際に、待っている児童と衝突しないように注意する。

【 実施上の留意点 】

1. 指導者・補助者等のスタッフ全員が常に参加者の健康状態を把握するように努め、積極的に声をかけるようにする。
2. スタッフは会場全体へ配慮の上、基本的な持ち場及び必要に応じて他の持ち場も補うように努める。
3. その他、何か気付いた点があったら、スタッフ全員で気付いた点を共有できるように、情報交換を行う。